

# 毛呂山町の地球温暖化対策に関する 意識調査報告書

令和5年8月  
毛呂山町

# 目次

1 調査の概要	1
1-1 目的	1
1-2 調査対象・調査方法	1
1-3 調査項目	2
2 町民アンケート調査の結果	3
2-1 回答者の属性について	3
(1) 年齢	3
(2) 居住年数	3
(3) 居住地区	3
(4) 住居の形態	4
(5) 世帯構成	4
(6) 自動車所有台数	4
2-2 気候変動問題に関する認識について	5
(1) 気候変動の影響の認知度	5
(2) 普段取り組んでいる地球温暖化対策	6
(3) 地球温暖化対策に取り組まない理由	8
(4) 地球温暖化対策設備機器の導入状況	9
(5) 地球温暖化対策設備機器を導入しない理由	11
(6) 普段取り組んでいるプラスチックごみ対策	12
2-3 毛呂山町の取組に対する理解について	13
(1) 町が積極的に取り組むべき地球温暖化対策	13
(2) 町の地球温暖化対策情報に関する入手方法	14
2-4 自由意見	16
3 事業者アンケート調査の結果	20
3-1 事業所の属性について	20
(1) 業種	20
(2) 従業員規模	20
(3) 所在地	21
(4) 建物の形態	21
(5) 毛呂山町での事業年数	21
3-2 事業所の脱炭素社会の実現に向けた取組について	22
(1) 脱炭素に向けた動きの認知度	22
(2) 地球温暖化対策への取り組み状況	23

(3) 脱炭素経営への取り組み状況 .....	24
(4) 地球温暖化対策設備機器の導入状況 .....	25
(5) プラスチックごみ対策への取り組み状況 .....	26
(6) 気候変動適応策への取り組み状況 .....	27
3-3 地球温暖化対策への取り組みにおける効果と課題について.....	28
(1) 地球温暖化対策への取り組みで得られた効果 .....	28
(2) 地球温暖化対策に取り組むにあたっての課題 .....	29
(3) 町が実施すると望ましいサポート .....	30
3-4 町が求められる支援・連携について .....	31
(1) 町が重点的に進めるべき地球温暖化対策 .....	31
(2) 取り組んでいる地域環境活動 .....	32
(3) 協力、支援できる活動分野 .....	33
(4) 協力、支援できる取組 .....	34
自由意見.....	35

# 1 調査の概要

## 1-1 目的

「毛呂山町地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」を策定するにあたり、町民や事業者の地球温暖化対策への取組の現状や、今後の取組の可能性等を把握し、計画策定の基礎資料とするため、アンケート調査を実施しました。

## 1-2 調査対象・調査方法

	町民	事業者
調査対象	毛呂山町に住む満 18 歳以上の 1,500 人	毛呂山町内の事業所 200 か所
抽出法	「住民基本台帳」から地区別人口比率に応じ、無作為抽出	毛呂山町の産業大分類従業者数の比率に応じ、無作為抽出
調査方法	配付方法：調査票の郵送 回収方法：返信用封筒による郵送及び WEB 回答	
調査期間	令和 5 年 6 月 26 日（月）～7 月 14 日（金）	
配布数	1,500	200
回収数 (うち WEB 回答)	580 (100)	83 (19)
回収率	38.7%	41.5%

### 1-3 調査項目

町民	事業者
①将来起こりうる気候変動の影響 ②地球温暖化対策の取組状況と今後の意向 ③地球温暖化対策に取り組まない理由 ④地球温暖化対策設備導入状況と今後の意向 ⑤地球温暖化対策設備を導入しない理由 ⑥プラスチックごみ対策の取組状況と今後の意向 ⑦町が積極的に取り組むべき地球温暖化対策 ⑧地球温暖化対策などに関する情報の入手方法	①脱炭素に対する考え方 ②地球温暖化対策の取組状況と今後の意向 ③脱炭素経営の取組状況と今後の意向 ④地球温暖化対策設備導入状況と今後の意向 ⑤プラスチックごみ対策の取組状況と今後の意向 ⑥気候変動適応策の取組状況と今後の意向 ⑦地球温暖化対策に取り組んだ効果と課題 ⑧町が実施すると望ましいサポート ⑨町が積極的に進めるべき地球温暖化対策 ⑩環境に関する地域貢献活動の取組状況 ⑪環境に関する地域貢献活動の協力・支援の意向

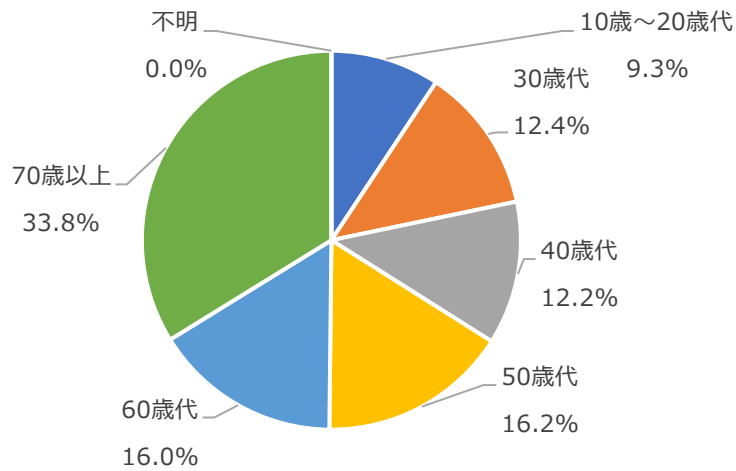
#### ※集計にあたっての留意点

- ・回答結果は、小数点第 2 位を四捨五入のうえ割合を示しているため、単数回答（複数の選択肢から 1 つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が 100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答（複数の選択肢から 2 つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、全体の回答数に対する割合を示しているため、合計が 100.0%を超える場合があります。
- ・数表等に記載された「n」は、回答割合算出上の基数（有効回答数）を示しています。
- ・各設問において、回答の記入がないもの、回答が識別できないものについては、「不明」として扱っています。

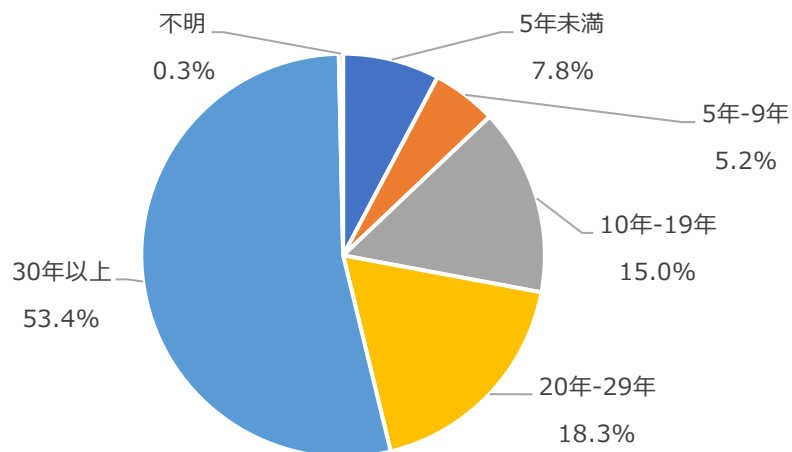
## 2 町民アンケート調査の結果

### 2-1 回答者の属性について

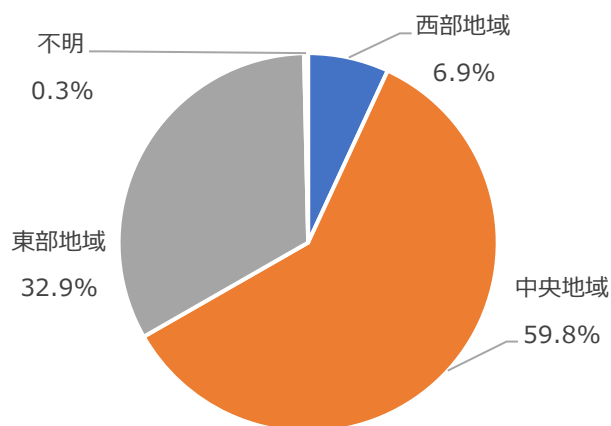
#### (1) 年齢



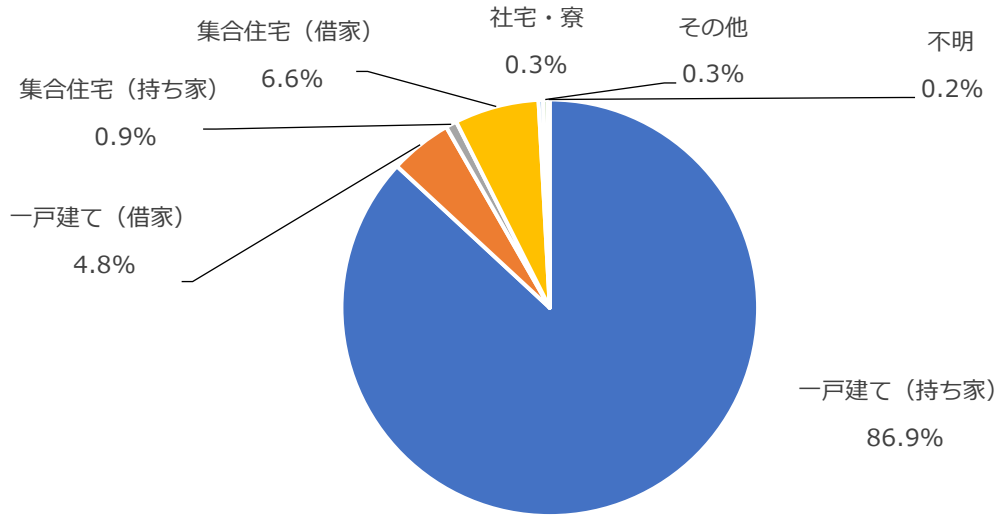
#### (2) 居住年数



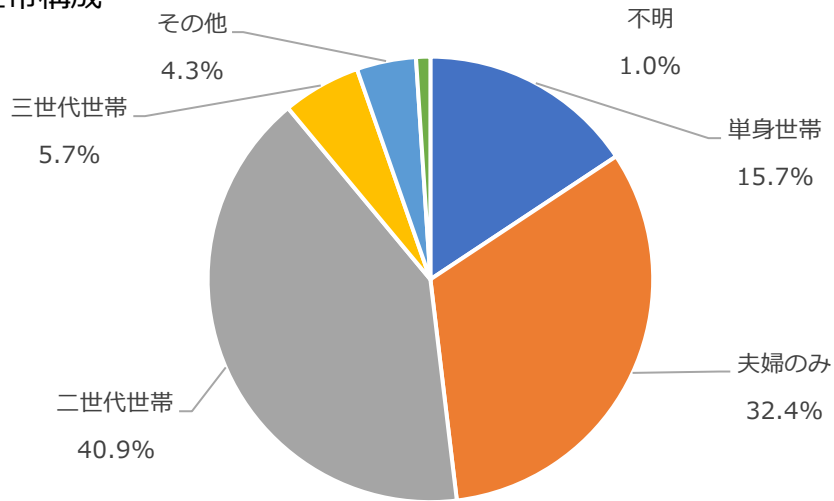
#### (3) 居住地区



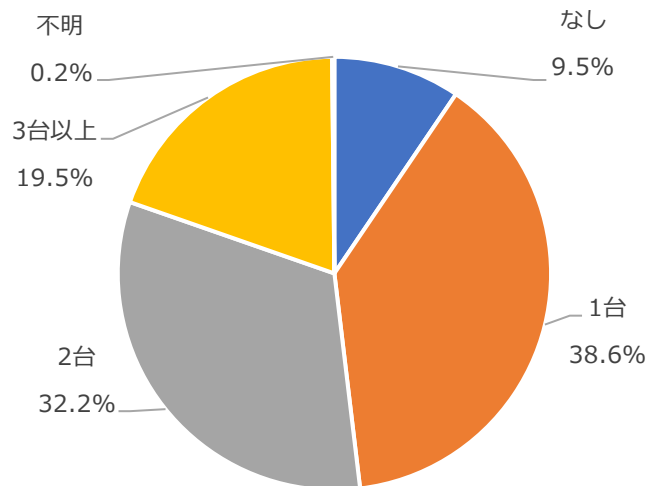
(4) 住居の形態



(5) 世帯構成



(6) 自動車所有台数



## 2-2 気候変動問題に関する認識について

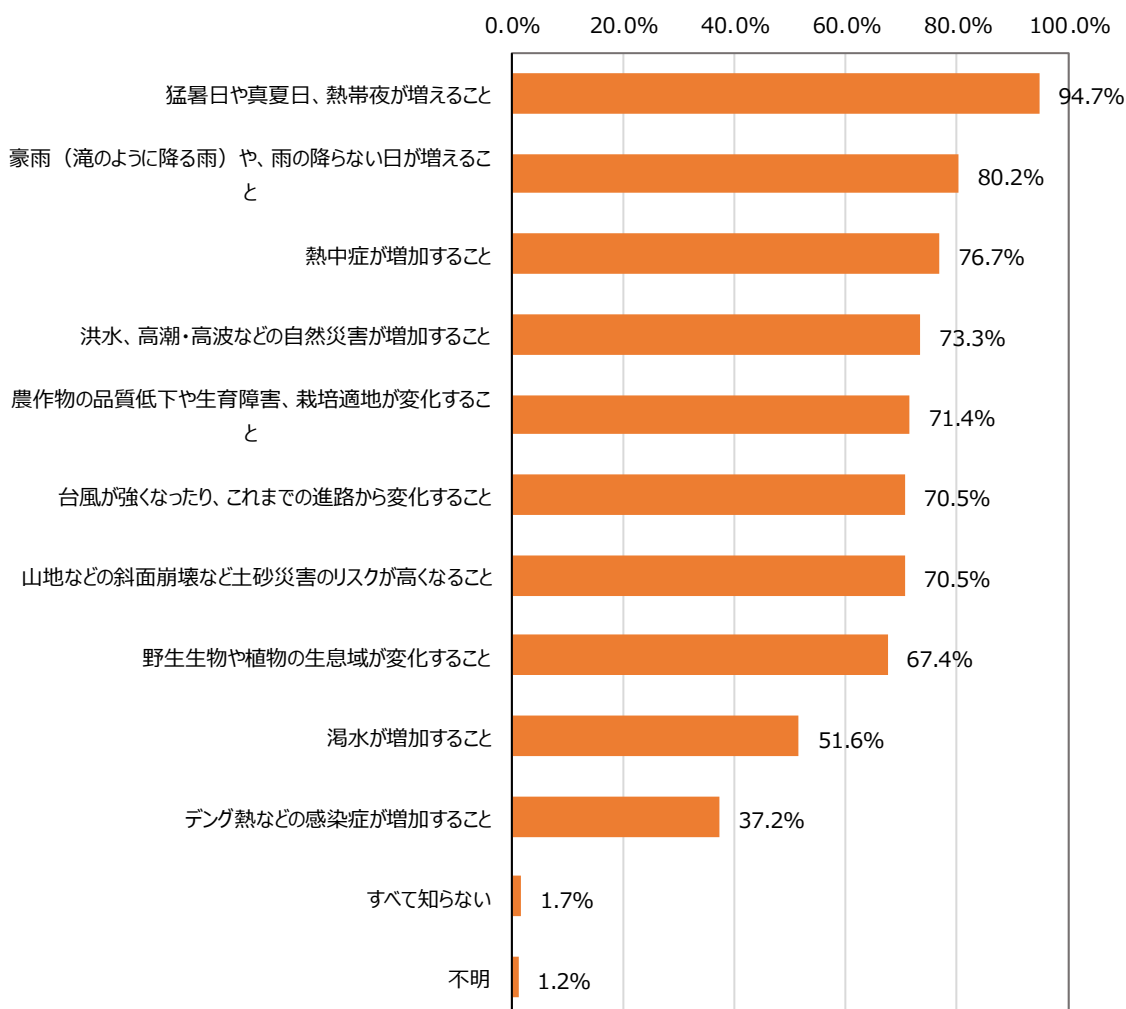
### (1) 気候変動の影響の認知度

問7 すでに日本でも地球温暖化による気候変動が観測されており、将来にわたって様々な影響を与えることが予測されています。あなたは、将来起こりうる気候変動の影響について知っていますか。あてはまる番号すべてを○で囲んでください。

気候変動の影響について聞いたところ、「猛暑日や真夏日、熱帯夜が増えること（94.7%）」の認知度が特に高く、「豪雨（滝のように降る雨）や、雨の降らない日が増えること（80.2%）」、「熱中症が増加すること（76.7%）」、「洪水、高潮・高波などの自然災害が増加すること（73.3%）」と続いています。

一方で、最も認知度が低かったのは「デング熱などの熱帯地域で発生する感染症が増加すること（37.5%）」でした。

「すべて知らない」と回答したのは1.2%であり、ほとんどの人が気候変動の影響について、何らかを認知している結果となっています。





## (2) 普段取り組んでいる地球温暖化対策

問8 地球温暖化対策として、普段あなたが取り組んでいることを教えてください。それぞれの項目について、あてはまる番号 1~3 の中から 1 つだけ○で囲んでください。

地球温暖化対策について聞いたところ、『取り組んでいる』対策では、「⑨空き缶やびん、ペットボトル、古紙などの資源を分別している（94.8%）」の実施率が最も高く、9割を超えています。次いで、「①不要な照明やテレビはこまめに消す（82.9%）」「②冷暖房を使用するときは温度設定に気を付けている（82.1%）」と続き、いずれも 8 割以上の実施率となっています。

『今後取り組みたい』対策としては、「⑩省エネラベルなどを参考にして温室効果ガスの排出量の少ない商品を購入している（59.1%）」「⑬風水害に備えて自宅や職場周辺の手洗いマップを確認している（46.4%）」「⑭暑さ指数（WBGT）を確認して、熱中症対策をしている（46.4%）」「⑮地球温暖化に関する学習講座、講演会に参加している（44.5%）」「⑯再生可能エネルギー、自然エネルギー由来の電力（電力会社の切り替え）を使用している（41.2%）」の回答率が多い結果となっています。

一方、実施率が低い対策については、「⑦レンタサイクルを利用している（1.7%）」「⑥レンタカーやカーシェアリングをしている（2.4%）」については、『取り組むのは難しい』と回答した人の割合が7割以上と高くなっています。次いで、「⑮地球温暖化に関する学習講座、講演会に参加している（2.6%）」は『取り組むのは難しい』と回答した人の割合が4割以上と比較的高くなっています。

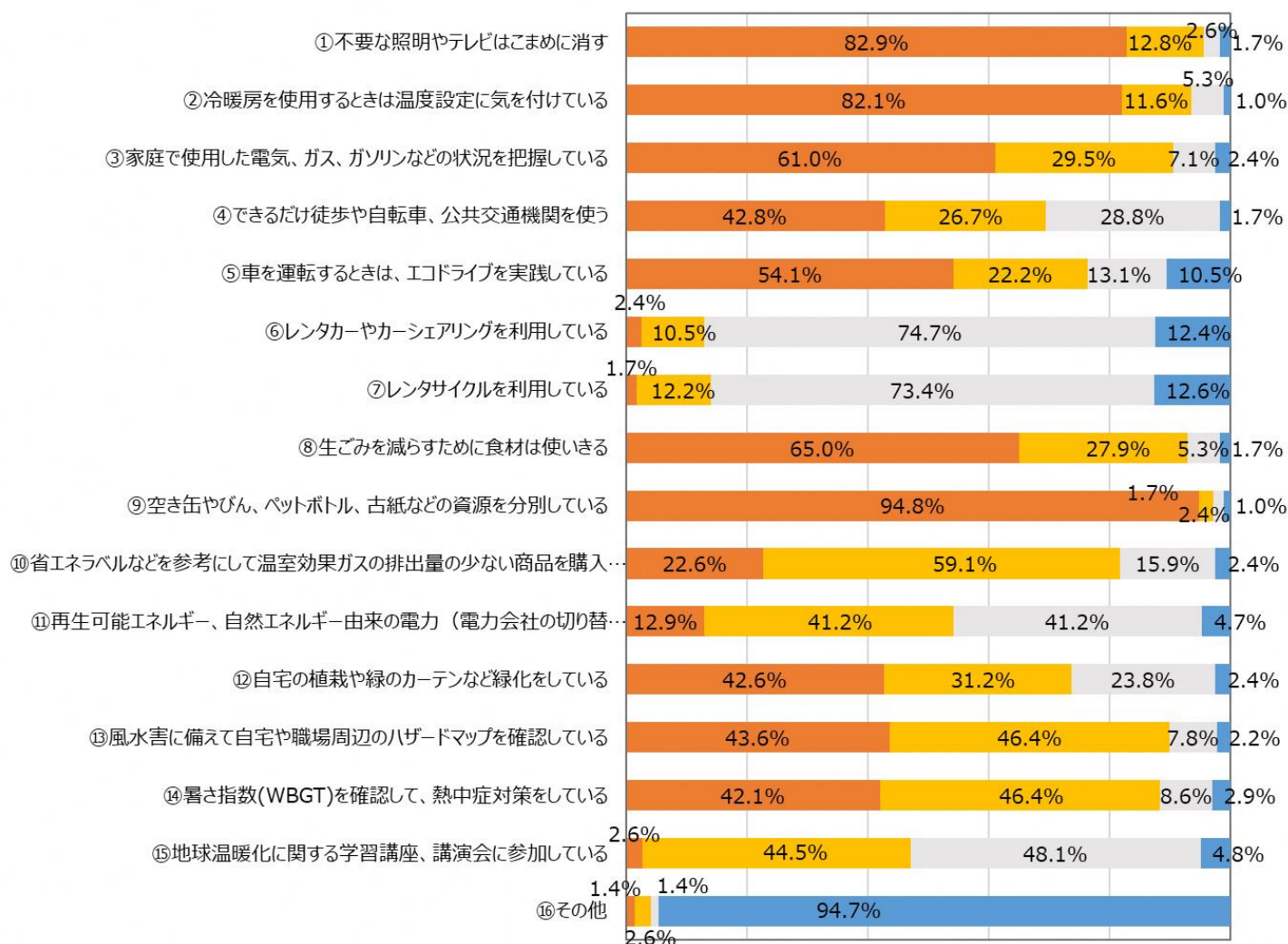
その他の回答では、お風呂の追い焚き回数の抑制や冷暖房の設定温度の調整等の省エネルギー対策や、生ゴミコンポスト作成や食品ロス対策などのごみの発生抑制、太陽光発電や電気自動車等地球温暖化対策設備機器の導入などの意見が挙がっています。

### ◆その他回答

- お風呂は続けて入るようにしている
- 冷暖房の設定温度を調整している
- 生鮮品の無駄な買い置きをしない
- 生ゴミコンポスト作成
- 屋根に遮熱塗料を塗る、二重窓にする
- 太陽光発電
- ハイブリッドカーを使用している
- 電気自動車や電動バイクの活用

など

0% 20% 40% 60% 80% 100%



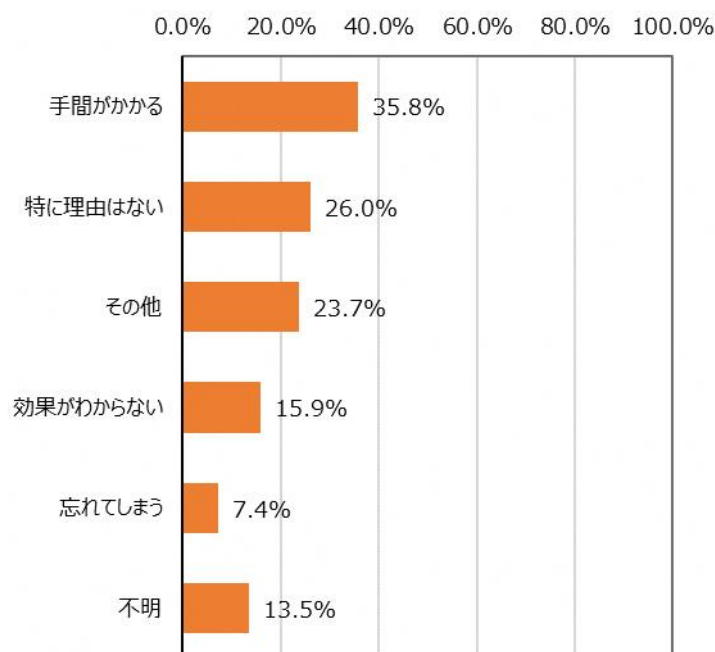
■ 取り組んでいる
 ■ 今後取り組みたい
 ■ 取り組むのは難しい
 ■ 不明

### (3) 地球温暖化対策に取り組まない理由

問 9 問 8 で 1 つ以上「取り組むのは難しい」と回答した方にご質問します。取り組むのは難しい理由としてあてはまる番号すべてを○で囲んでください。

地球温暖化対策に取り組むのが難しいと感じる理由を聞いたところ、「手間がかかる (35.8%)」が最も多く、「特に理由はない (26.0%)」、「効果がわからない (15.9%)」と続いています。

また、「その他 (23.7%)」の回答も多く、具体的には、お金がない、時間がない、高齢のため、不便になるため、などの理由が挙がっています。「⑥レンタカーやカーシェアリング」及び「⑦レンタサイクル」については、すでに所有している、店舗が近くになり、不便になるといった意見が多く挙がっています。



#### ◆その他回答

- 公共交通機関の利用はアクセスや本数、時間帯など大変不便なことが多い。
- 徒歩圏内の移動でも交通量の多い道路の歩道や路肩の整備がされていない区間があり、間街灯が少なく暗い道路も多くあり歩行時に危険を感じることもある。
- 車がないと生活が不便なので、レンタカーやカーシェアリングは現実的でない
- レンタカーやレンタサイクル等利用する店が近くにない
- どこで講座を開催しているかわからない
- 金銭的、時間的な問題
- 年を取って徒歩は難しい（足が悪い）
- 利用できる会社が不明であり、あったとしても安定供給に不安がある
- 環境対策を最優先出来ない状況も発生するため

など

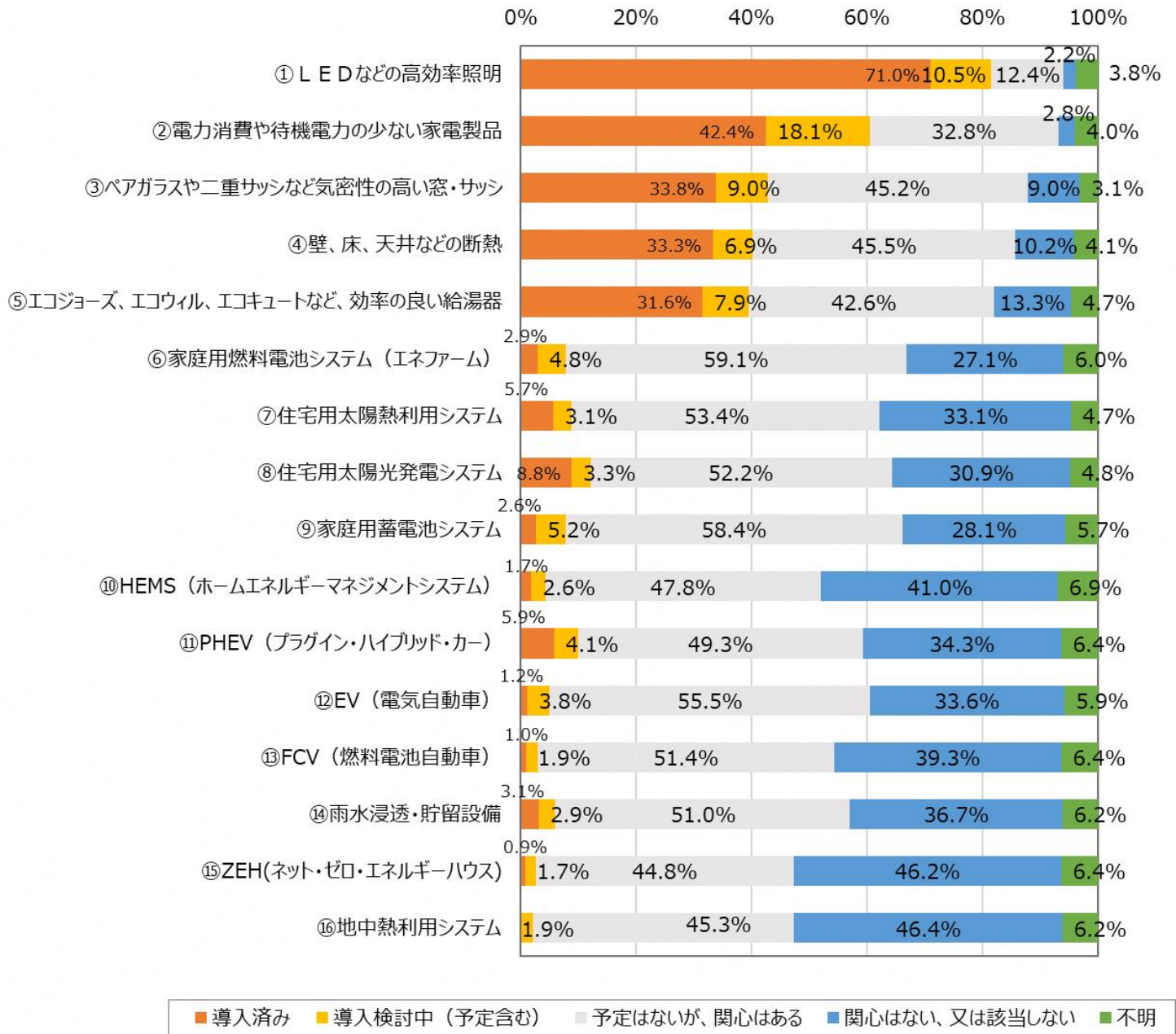
#### (4) 地球温暖化対策設備機器の導入状況

問 10 地球温暖化対策につながる機器や設備について、導入しているものはありますか。それぞれの項目について、あてはまる番号 1～4 の中から 1 つだけ○で囲んでください。

地球温暖化防止につながる機器や設備（以下、「地球温暖化対策設備機器」）などの導入状況を聞いたところ、『導入済み』は「①LED などの高効率照明（71.0%）」の実施率が最も高く、「②電力消費や待機電力の少ない家電製品（42.4%）」、「③ペアガラスや二重サッシなど気密性の高い窓・サッシ（33.8%）」、「④壁、床、天井などの断熱（33.3%）」、「⑤エコジョーズ、エコウィル、エコキュートなど、効率の良い給湯器（31.6%）」と続いていますまた、『導入検討中』においても、「②電力消費や待機電力の少ない家電製品（18.1%）」、「①LED などの高効率照明（10.5%）」、「③ペアガラスや二重サッシなど気密性の高い窓・サッシ（9.0%）」、「⑤エコジョーズ、エコウィル、エコキュートなど、効率の良い給湯器（7.9%）」、「④壁、床、天井などの断熱（6.9%）」と『導入済み』で実施率が高い項目が続いています。

『予定はないが、関心はある』については、5 割近い回答率の項目が多く、「⑥家庭用燃料電池システム（エネファーム）（59.1%）」、「⑨家庭用蓄電池システム（58.4%）」、「⑩EV（電気自動車）（55.5%）」、「⑦住宅用太陽熱利用システム（53.4%）」、「⑧住宅用太陽光発電システム（52.2%）」と続いています。

一方で、『関心はない、又は該当しない』については、「⑰地中熱利用システム（46.4%）」、「⑱ZEH（ネット・ゼロ・エネルギーハウス）（46.2%）」と続いています。

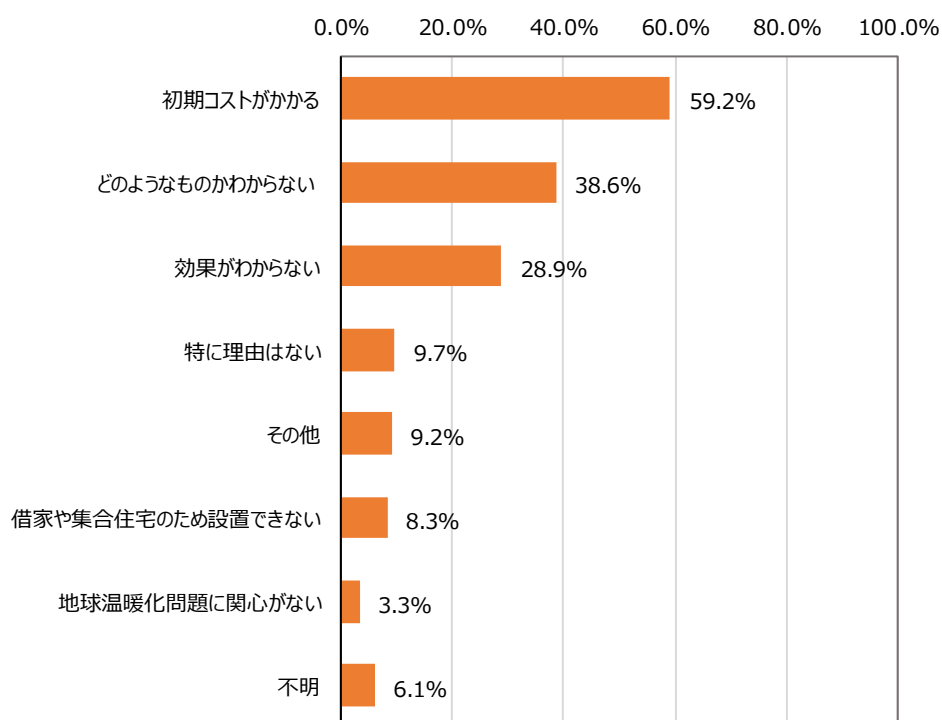


## (5) 地球温暖化対策設備機器を導入しない理由

問 11 問 10 で1つ以上「関心はない、又は該当しない」と回答した方にご質問します。理由としてあてはまる番号すべてを○で囲んでください。

地球温暖化対策設備機器を導入しない理由を聞いたところ、「初期コストがかかる(59.2%)」が最も多く、次いで「どのようなものかわからない(38.6%)」、「効果がわからない(28.9%)」となっています。

その他の回答では、インフラ整備の遅れや維持費等のコスト高、地球温暖化対策設備機器等への不信感などの理由が挙がっています。



### ◆その他回答

- 太陽光発電装置やEV車の製造過程で排出されるCO<sub>2</sub>量が多い逆効果ではないか。
- ソーラーパネルにはカドミウムなどの有害物質が含まれており、処分方法が厄介。
- EVについては、総合的な電力供給がどのようになるか
- 補助金が少なすぎる。温暖化防止のために税金を使うべきと思う。
- 初期コストだけでなく、維持費とその対価が不明。
- 維持コストがかかり続け、廃棄時にかかる
- 電気自動車のインフラ整備に不安がある
- 技術的にまだ導入したいと思うレベルに達してないと思うから
- 年齢が高いので、自分たちにできることのみ行いたい
- メンテナンスコストがかかる

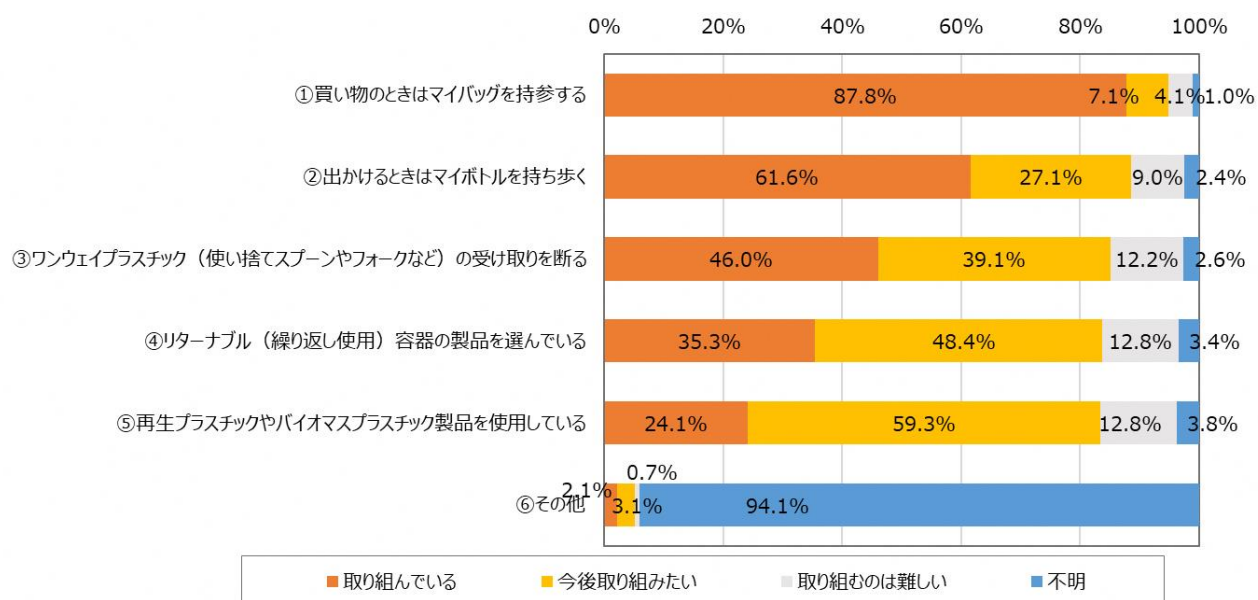
など

## (6) 普段取り組んでいるプラスチックごみ対策

問 12 プラスチックごみを燃やすことは二酸化炭素の排出につながります。プラスチックごみの削減につながる取り組みについて、普段あなたが取り組んでいることを教えてください。それぞれの項目について、あてはまる番号 1~3 の中から 1 つだけ○で囲んでください。

プラスチックごみ対策について聞いたところ、『取り組んでいる』対策では、「①買い物ときはマイバッグを持参する（87.8%）」の実施率が最も高く、9 割近い実施率となっています。次いで、「②出かけるときはマイボトルを持ち歩く（61.6%）」「③ワンウェイプラスチック（使い捨てスプーンやフォークなど）の受け取りを断る（46.0%）」と続いています。

『取り組んでいる』と『今後取り組みたい』を合わせると、すべての項目で 8 割以上の回答率となりました。



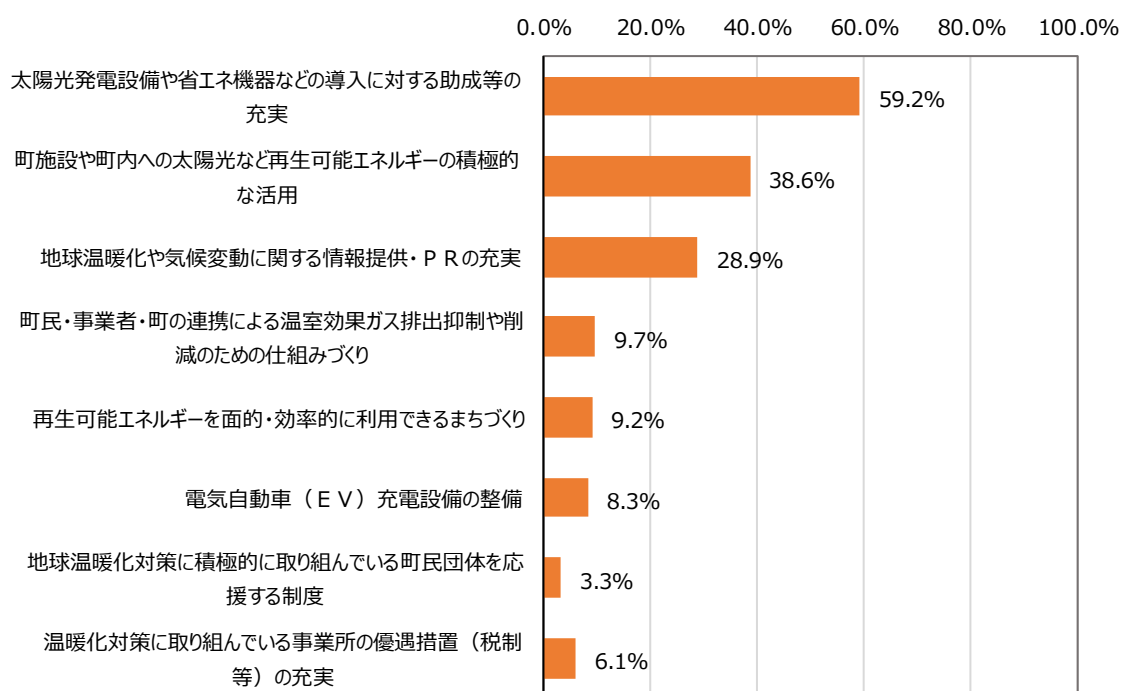
## 2-3 毛呂山町の取組に対する理解について

### (1) 町が積極的に取り組むべき地球温暖化対策

問 13 温暖化対策について、町が積極的に進めるべきだと思う取組は、どれだ  
 と思いますか。あてはまる番号を3つまで○で囲んでください。

毛呂山町が積極的に進めるべき地球温暖化対策を聞いたところ、「太陽光発電設備や省エネ機器などの導入に対する助成等の充実（59.2%）」が最も多く、次いで「町施設や町内への太陽光など再生可能エネルギーの積極的な活用（38.6%）」、「地球温暖化や気候変動に関する情報提供・PRの充実（28.9%）」となっています。

その他の回答では、緑化事業の推進などの意見が挙がっています。



#### ◆その他回答

- 一部道路の舗装状況が悪いため燃費が悪くタイヤの摩耗もかなり多いと思われる。加えて、道路の凹凸は自転車や徒歩への身体的負担にも繋がるため、ますます自動車の利用に傾く要因となり得ます。もう少し平らな舗装をして下さい。
- 断熱リフォーム、雨水タンク、eco 家電、エコキュート、太陽光パネル設置の助成金制度が欲しい
- 何事もお金がなければできない
- 温暖化対策より、高齢化問題や空き家問題などもたくさんあると思う
- 森林を増やす。町に緑と水を増やす。
- 荒地の緑化事業
- 緑化運動

など



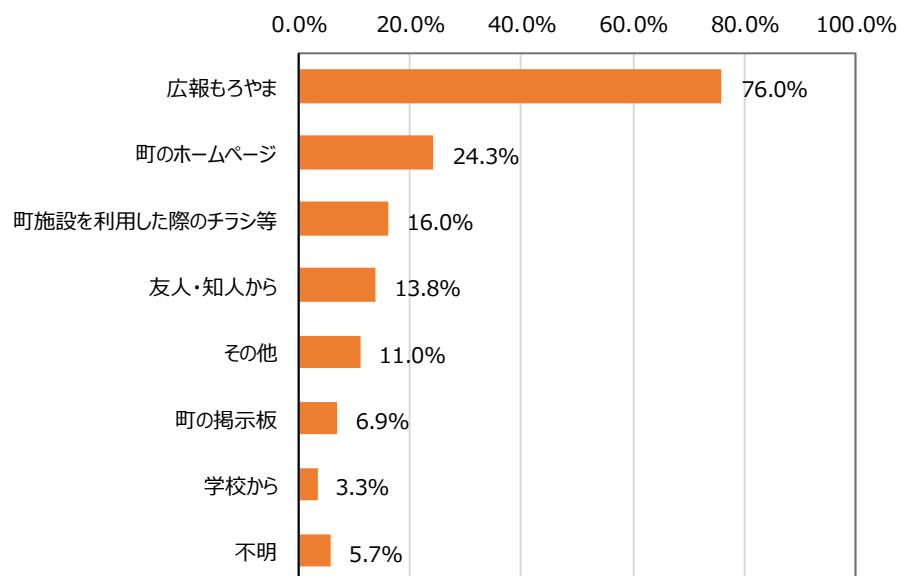
## (2) 町の地球温暖化対策情報に関する入手方法

問 14 町の地球温暖化対策について、どのようなところから情報を入手していますか。あてはまる番号すべてを○で囲んでください。

毛呂山町の地球温暖化対策情報の入手方法を聞いたところ、「広報もろやま（76.0%）」が最も多く、次いで、「町のホームページから（24.3%）」、「町施設を利用した際のチラシ等から（16.0%）」となっています。

その他の回答では、テレビや各種メディアなどが挙げられた一方、「取組を知らなかった」「入手したことがない」といった意見も多数挙がっています。

このほか、情報を入手しやすい方法について聞いたところ、駅や商業施設での掲示など、SNS（LINE・Twitter等）の活用、様々な意見が挙がっています。



### ◆その他回答

- 地球温暖化対策等はテレビ、新聞から情報を得ている。
- このアンケートがくるまで取り組んでいる事さえ知らなかった。
- 今回の町民アンケート調査が情報入手の契機となる。
- 自発的に入手（情報）しようとしていない
- 町の取り組みがよくわからない
- 今のところ入手したことはない
- 有意義な情報が少ない
- 職場

など

◆その他、情報を入手しやすい方法

- 興味を持たないと‘知ろうとする’ことをしないため、誰でも聞くことができるような町内アナウンスなどを用いるのも良いかと思えます。
- ホームページを更に検索しやすく、わかりやすい項目と内容にしていきたい。
- コンビニ、スーパー等のポスター掲示。
- 夏の各地区で行われる祭にPRのテントを設ける。
- 広報と一緒に保存版の冊子があるとよく目を通しやすいと思う。
- 小・中学校での講演に町民も参加可能とする。
- PRキャラクターのマスコット、ストラップ等の作成。
- 借家の集合住宅に「広報もろやま」をポスティングする（自治会に加入できていない集合住宅には配布されないため）。
- 幼稚園・保育園・小学校・中学校等を通じて、常に情報を発信すべき。
- 駅にポスターを貼る。駅のホームでアナウンスするなど。
- ゆずケーブルテレビの活用を実施してほしい。
- 回覧板で告知。スーパー、コンビニ等の目につく所に掲示する。
- 役場を活用すること。モニターで町の様々な情報を得られる。
- SNS・メール・LINE・Twitter

など

## 2-4 自由意見

最後に、地球温暖化対策に関わる意見等を自由記述形式で求めたところ、106人(22.1%)の方からの記入がありました。

### ◆主な意見(要約)

#### ●再生可能エネルギーについて

- 空き地や山などの町の土地をいかし、太陽光発電パネルを取りつけ、すこしでも電力を取り入れてもいいのかと思う。個人では空いた土地にされている方もいるが、町でもそういった活動もしていいと思う。
- 地域の集会所などに太陽光発電システムを導入するための補助金が欲しい。避難所にもなりうるような所に設置が進めば、防災対策にもなるのではと考えます。
- 所沢市のように市全体でエネルギーの自立化など考えていくべきと思う。
- 休耕田等を利用した、ソーラー発電を町と町民で実施できないか。
- 家庭の設備に助成金が出ると導入が検討出来ると思う。
- 森を切り開いて設置しているソーラーパネルは絶対にやらないで欲しい。ソーラーパネルを設置するならばビルの上や建物のみで、森林伐採はしないでほしい。
- 太陽光発電設備や省エネ機器などメリットだけでなく、デメリットもしっかりととりあげてほしい。太陽光パネルなど大量廃棄問題があるので、しっかりと再資源化や処分場の増設など、準備のめどを立ててから推進して行ってほしい。
- 再生エネルギー=ソーラーパネルと安易に考えて、山や森林を伐採し、田畑をつぶして前面をソーラーにしてしまうのは、短絡的だと考えている。治水対策とか多角的な視点で見た温暖化対策のビジョンを示してほしい。

#### ●温室効果ガスの削減行動について

- 最近の猛暑にゴーヤのカーテンでは成長不良。それよりヘチマ(ナーベラー)のカーテンの遮光はもとより柔らかい実は食べられ、固くなった実はヘチマたわしとなり、ヘチマ水は化粧水となり、4つの利用ができお薦め。
- 調理に関しても鍋をバスタオルやシーツなどで包む保温調理を何年も続けている。地球温暖化対策について、色々私たちにできるエコを続けていきたいし、また紹介していただければと思う。
- 広報の“わがやのアイドル”みたいに、今すぐ始められる小さなエコを紹介するコーナーがあると、興味を持って楽しくエコができる。例えば、我が家のちょこっとエコ・これってエコなの?(質問でもいい)・気軽にエコ・私のエコライフ・こんなことやってます等、真似しなくなるような、楽しみながら続けられるように、誰でもわかる、できること等。
- 地球温暖化対策という大々的な目標はあるものの、その取り組みは個々の自主性による部分が多い。例えば、限定的でも「これだけは必ず取り組むようにする」という項目があっても良いと思う。
- 個人のいろいろな地球温暖化対策への協力に対して、わずかでも金品の得点というかを検討していただけたら、協力しよう!と決心できると思う。

○何をどのくらい気をつければ、このくらいになる目安が分かると、良いなと思う。

### ●毛呂山町の公共施設について

○町公共施設では、太陽光発電でまかなうことができれば、素晴らしい。

○公共施設、事業者、すべての建物への太陽光発電設置。太陽光・風力による発電施設建設。

○町所有車両からEV化すべき。

○役場庁舎を日本一の温暖化対策庁舎に建替えれば町のPRになると思う。

○小中学校や公民館など、町立施設の屋上に太陽光発電設備を付けて、町が温暖化防止に取り組んでいることを町民にアピールしてほしい。

○役場や公民館等公共施設の温度調整をしてほしい（冬の設定温度が高すぎ、夏の低すぎが気になる時が多々ある）。

### ●循環型社会について

○ゴミが分別されていないから、町内会の人間が他人のゴミを開け分別させるのは、行政が取る行為ではない。ゴミの分別は町が全町民に依頼しているものであるが、町内会のゴミ担当者に負担を押し付けられている。そのため、町内会には入らない方が良いと考えるのは当たり前である。

○ゴミを出す場所が大通りに面している場所では、他の地域の人が車に乗って、ルールに則らないゴミを置いていく場面が多い。

○資源回収時、ダンボール、新聞紙は回収されていますが、雑誌が残っていることがあります。こまめに分別しているので残念に思う。回収後確認に行っています。出し方が悪い方がいるので分別の仕方をもっとわかりやすく。

○地域のゴミ対策に取り組んでほしい。例えばゴミが動物（カラス）によって散らかっていたり、ゴミの捨てる日ではないのに、捨てていたり。

○以前は生ごみを燃えるゴミの日に出していましたが、コンポスターを購入し、家庭菜園の肥料にもなるのでしばらく使用していましたが乾燥させるだけなら天日干しでもいけるかなと試しにウッドデッキで天日干したところカ臭いも虫も全くなりました。4/23から始めたのですが、2ヶ月で家庭3人分の生ごみが数kgに収まり（2kg弱）、コンポスターと併用して家庭菜園の肥料に活用しています。

○生ごみ、枝木、焼却はやめられないのか。

### ●脱炭素型まちづくりについて

○自転車のシェアポートを武州長瀬～川角まで増やすと良い。また、大学病院周辺も学生さんが多いので希望。その周りは、道路の整備も必要。道が悪いと自転車を利用しなくなります。また、歩道がなく、道路もタイヤが入ってしまっただけでケガをしてしまいそうな穴もあります。

○カーシェアもあるといい。

○もろバスをもっと増やしてほしい。行きはバスですが帰りがないのでタクシーを利用している。（老人用にタクシーの割引券も出してほしい）

### ●気候変動適応について

○最近、線状降水帯による豪雨が長く続くことが増えています。家の近くにどぶ川がある為、不安がある。個人では、雨水浸透、貯水設備の設置は難しい為、町の予算としては厳しいと思いますが、その点の拡充をご検討いただくと助かります。

○地球温暖化による気候変動が心配です。地震や台風だけではなくゲリラ豪雨、集中豪雨への注意や、自分でできる対策、防災のツボなどを公報もろやまや町のホームページで特集してほしいです。

○町に木陰を作っていただきたい。子どもから大人まで休めるように。

○川が氾濫しないよう、万全な対策を是非お願いしたい。

### ●その他地球温暖化対策全般について

○毛呂山町含む3町1村の2050年までにCO2排出ゼロを目指した「山並連携ゼロカーボンシティ共同宣言」を本アンケート調査で知った。すでに行っているかもしれないが、3町1村の取組を定期的に広報・宣伝する必要があると思う。

○地球温暖化の影響をより身近に感じてもらうために、毛呂山町内の「平均気温、降雨量、冠水被害状況等」の変化を見やすい形でデータ化して、公報や学者材料として提供してはどうか。また、町内から排出される焼却ゴミが年間〇〇トンのCO2を排出している等についても具体的な数値データとして公表して、削減目標を達成するためにはどんな対策が必要かを町民に示してみたら良いと思う。

○MOTH GREEN LANDの活用

○地球温暖化止めるために、できる努力はしたい。教えてほしい。

○温暖化対策には個人としてはお金がかかる。数少ない家庭の協力では取り組むにも効果は少ない。大きな会社、団体で智慧を出していかないと厳しいのでは。

○温暖対策は子どもの頃から教えていただければ身について自然にできるかなと思う。

○東日本大震災が起これ、計画停電も実施され、信号機の点灯や家庭での電気使用の困窮があった。特にオール電化住宅の人は生活に窮屈を極めた事を思うと、化石燃料はなくならない。

○対策しようとしてもまず「コスト、金」であきらめている方も多い。

○地球温暖化は何故起きているのか、環境以外の課題などについても、子ども達を含め、町民全体で考える機会を作してほしい。

○今後必要な事柄であるが、なかなか分かりにくい所もあり、町民が最低限度に取り組めるものをアピールしていくことは大切だと考える。

○省エネ住宅への補助金の充実。

○個人レベルでは限りがあるので、公共施設や商店、企業の協力が重要だと思う。

### ●森林等の保全について

○日本古来の植物（ホトトギス）などの自生があるが、住民の高齢化で山林の手入れができず、健康な山林が少なくなっている。個人では限界があり、ホトトギスの花を見たこともない町の人がいなくならないように切に願う。

○高齢化に伴い、庭木等の手入れができなくなり、伐採を考えている。夏場の日除けにもなっているが、手入れが難しい。成長した植木の手入れはシルバー人材センターも困難で植木

専門業者にずっと払うのも経済的に無理。安価で毎年頼めるような緑の維持ができる業者があれば、吸収量が減った老木が倒れる前に、新しい木を植えることができる。

○農地の宅地化が進んでいますが、宅地化の緑化は少なく、砂利敷やコンクリート整備が行われているようで、問 13 と関係しますが、緑化推進の助成等が期待される。

○町内木材を使用した高級品の開発（楽器、スピーカー等）

○森林を楽しむ事業（ウルトラマラソン、仰天マラソン）

○杉材は醤油、味噌等の仕込み樽に使用されるので樽作りの支援を町ですること面白いかも（小豆島の木桶職人復活プロジェクトを参照）

#### ●SDGs について

○地球温暖化は、単体の問題ではなく SDGs に代表される、各種の問題が密接に相互関連しあい出てきているため、啓蒙活動とともに進めなければならないのでは。

○地球温暖化だけではなく、SDGs の 17 の提言を軸に、取り組まれることを望みます。

○他町町村の方から、開発が進んできたとよく言われる。人間の経済活動と環境保護は相反する部分があるのかもしれませんが、少しでも両立できるような考え方の“SDGs”は大切かと思っている。

○“SDGs”のキーワードが今回のアンケート内に記載がなかった。私達一般家庭でも取り組める項目があると思う。“SDGs”の取り組みについて、他地域でも行っていることを参考にしてみたいは如何か。

○町内への誘致企業等への一定の SDGs の義務を科す。

○地元の木を切るところから、SDGs を意識しながら、皆で一軒家を建てる

#### ●その他行政政策について

○今はリモート就業もあり、高齢化社会で少子化でもあります（ゆえに外国人（移民）に寛容であることも必要と考えます）。以前、東洋大との空家イベントのコラボがあったが、（バリアフリー等も含め）。公学民共同のイベント開催を求める。

○未来を作る公立保育園、小中学校の子ども達が主導で対策に関われる町政であって欲しいと思う。

○web での回答が最もエコにつながると思う。

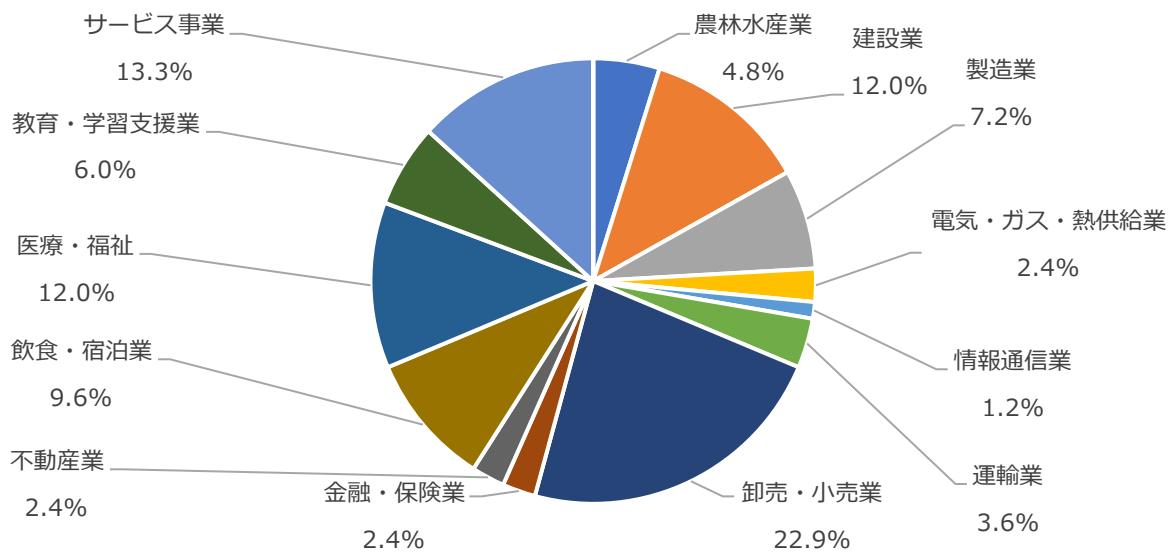
○マスコットキャラクターを使ってキャンペーンを行ったりすれば、小さなお子さんやお年寄りにも共感できる体制作りが出来るのでは。

など

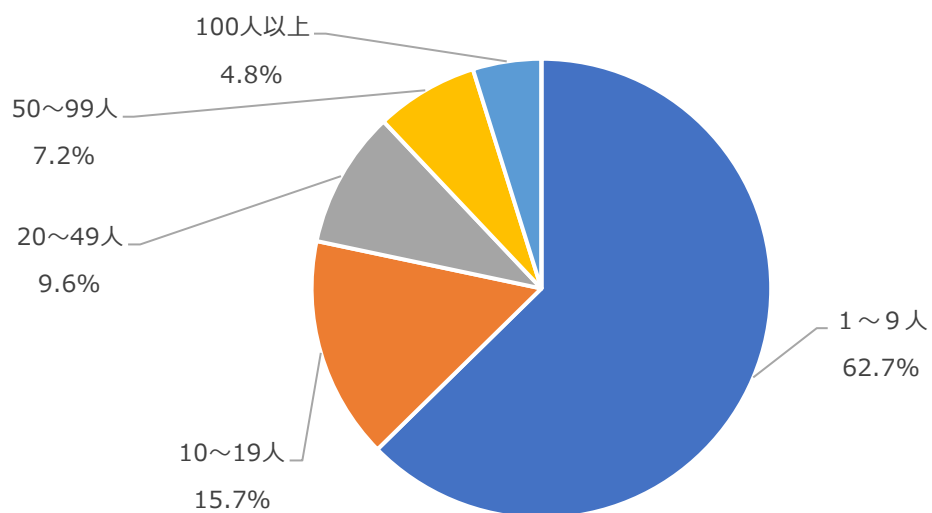
### 3 事業者アンケート調査の結果

#### 3-1 事業所の属性について

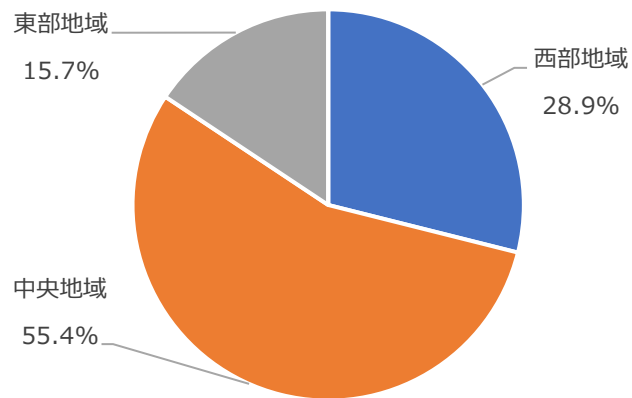
##### (1) 業種



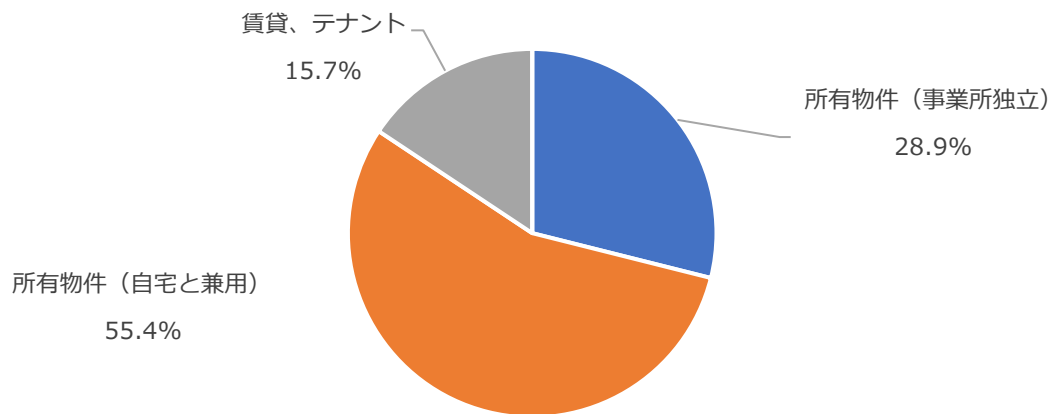
##### (2) 従業員規模



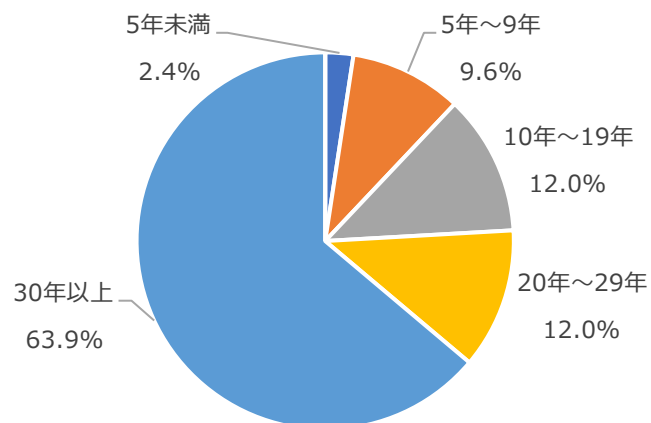
### (3) 所在地



### (4) 建物の形態



### (5) 毛呂山町での事業年数



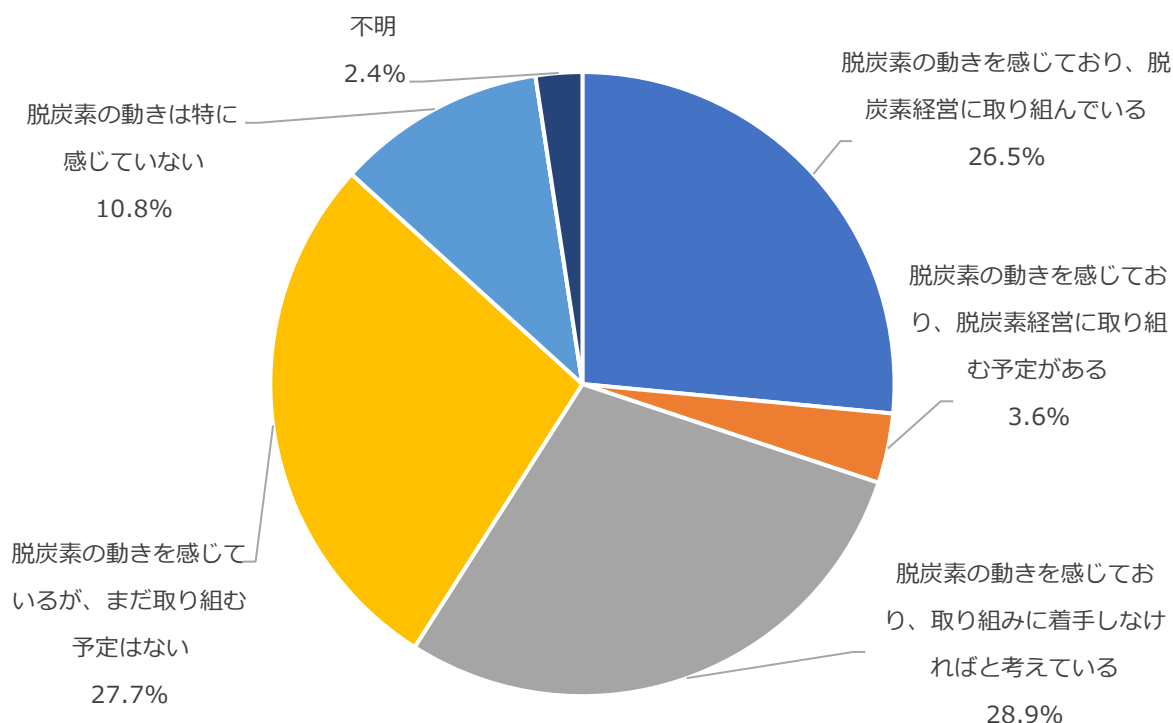


## 3-2 事業所の脱炭素社会の実現に向けた取組について

### (1) 脱炭素に向けた動きの認知度

問6 2015年12月に採択された「パリ協定」を契機に、国内外で脱炭素に向けた動きが加速しています。国でも2050年カーボンニュートラル※・脱炭素社会の実現に向け、2030年度には温室効果ガスを46%（2013年度比）削減することを目標として掲げました。貴事業所においても脱炭素に向けた動きを感じていますか。あてはまる番号を1つだけ○で囲んでください。

脱炭素に向けた動きについて聞いたところ、「脱炭素の動きを感じており、取り組みに着手しなければと考えている（28.9%）」と回答した事業所が最も多く、『脱炭素の動きを感じている』趣旨の回答率を合わせると9割近くとなり、脱炭素に向けた動きの認知度が高まっていることがうかがえます。「脱炭素の動きは特に感じていない（10.8%）」の回答率は1割程度となっています。

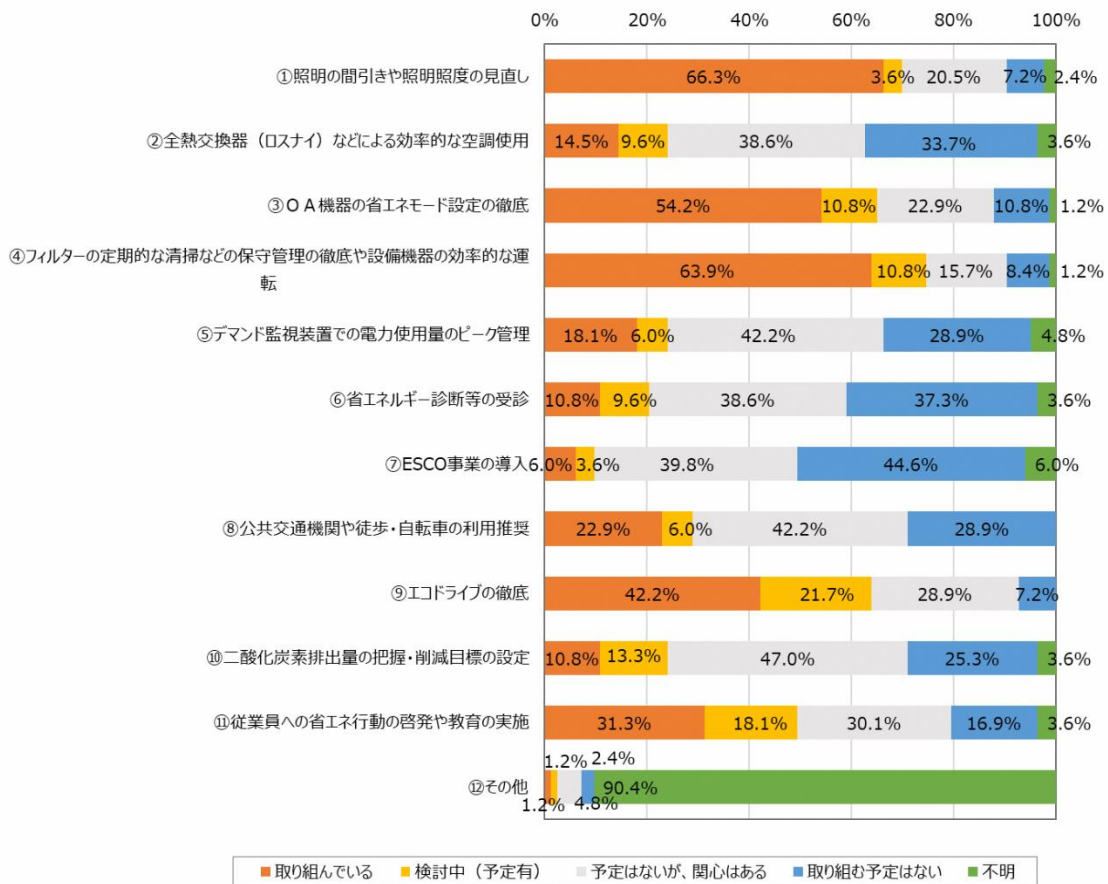


## (2) 地球温暖化対策への取り組み状況

問 7 貴事業所で取り組まれている省エネルギーなど地球温暖化対策の取り組みを教えてください。あてはまる番号 1~4 の中から 1 つだけ○で囲んでください。

地球温暖化対策への取り組み状況について聞いたところ、『取り組んでいる』対策では、「①照明の間引きや照明照度の見直し（66.3%）」の実施率が最も高く、次いで、「④フィルターの定期的な清掃などの保守管理の徹底や設備機器の効率的な運転（63.9%）」、「③OA 機器の省エネモード設定の徹底（54.2%）」、「⑨エコドライブの徹底（42.2%）」となっています。

『予定はないが、関心はある』対策について「⑩二酸化炭素排出量の把握・削減目標の設定（47.0%）」「⑤デマンド監視装置での電力使用量のピーク管理（42.2%）」「⑧公共交通機関や徒歩・自転車の利用推奨（42.2%）」の回答率が比較的高くなっています。



### ◆その他の回答

○ 具体的にどう取り組んでいいかわからない。指導書、マニュアル、参考例などがあれば良いと思う。

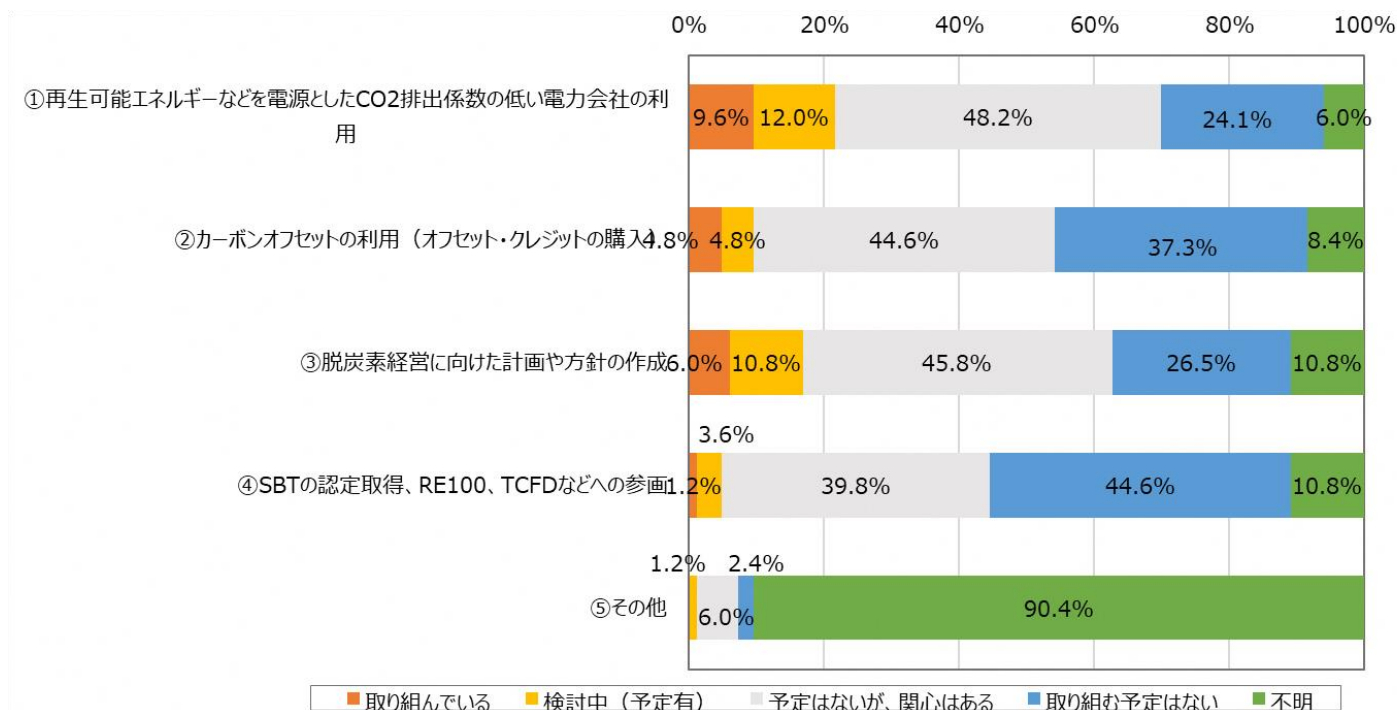
### (3) 脱炭素経営への取り組み状況

問8 貴事業所で取り組まれている設備導入が伴わない脱炭素の取り組みを教えてください。それぞれの項目について、あてはまる番号 1~4 の中から 1 つだけ○で囲んでください。

脱炭素経営の取り組み状況について聞いたところ、「①再生可能エネルギーなどを電源とした CO<sub>2</sub>排出係数の低い電力会社の利用」は、『取り組んでいる』と『検討中（予定有）』を合わせて 21.6%であり、『予定はないが、関心はある』も合わせると 7 割近い事業所が取り組んでいる若しくは関心を持っている結果となりました。

「③脱炭素経営に向けた計画や方針の作成」は、『取り組んでいる』と『検討中（予定有）』を合わせて 16.8%であり、『予定はないが、関心はある』も合わせると 6 割近い事業所が取り組んでいる若しくは関心を持っている結果となりました。

「②カーボンオフセットの利用（オフセット・クレジットの購入）」、「④SBT の認定取得、RE100、TCFD などへの参画」については、『取り組んでいる』、『検討中（予定有）』、『予定はないが、関心はある』の回答を合わせると、5 割程度の回答率となっています。



#### ◆その他の回答

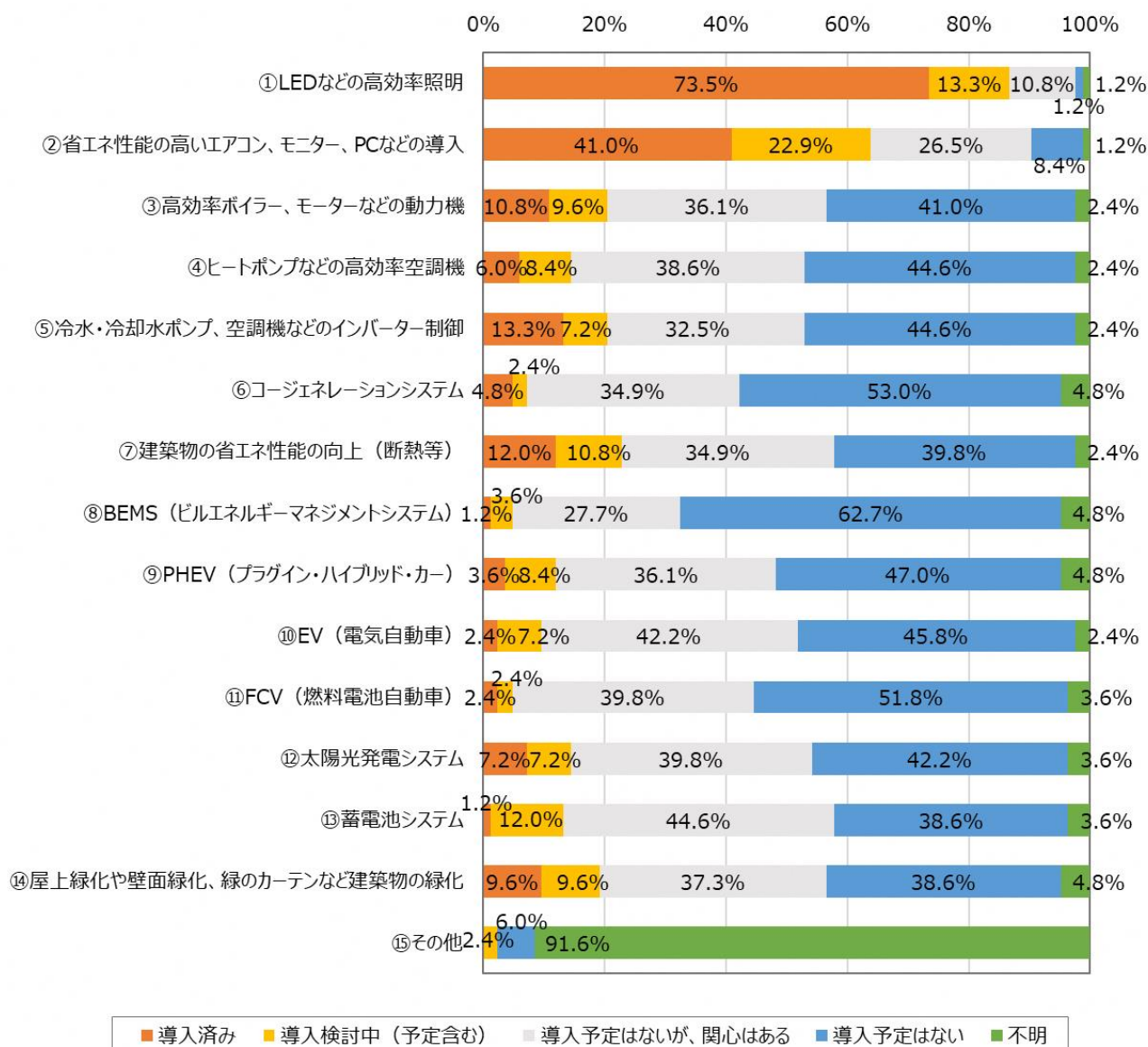
○ 勉強したい

#### (4) 地球温暖化対策設備機器の導入状況

問9 貴事業所で導入されている地球温暖化対策につながる機器や設備を教えてください。それぞれの項目について、あてはまる番号1～4の中から1つだけ○で囲んでください。

地球温暖化対策設備機器の導入状況について聞いたところ、『導入済み』の設備機器は「④LED などの高効率照明（73.5%）」が最も多く、「②省エネ性能の高いエアコン、モニター、PC などの導入（41.0%）」、「③冷水・冷却水ポンプ、空調機などのインバーター制御（13.3%）」と続いています。

『導入予定はないが、関心はある』設備機器については、「⑬蓄電池システム（44.6%）」、「⑩EV（電気自動車）（42.2%）」、「⑪FCV（燃料電池自動車）（39.8%）」、「⑫太陽光発電システム（39.8%）」、「④ヒートポンプなどの高効率空調機（38.6%）」、「⑭屋上緑化や壁面緑化、緑のカーテンなど建築物の緑化（37.3%）」と続いています。



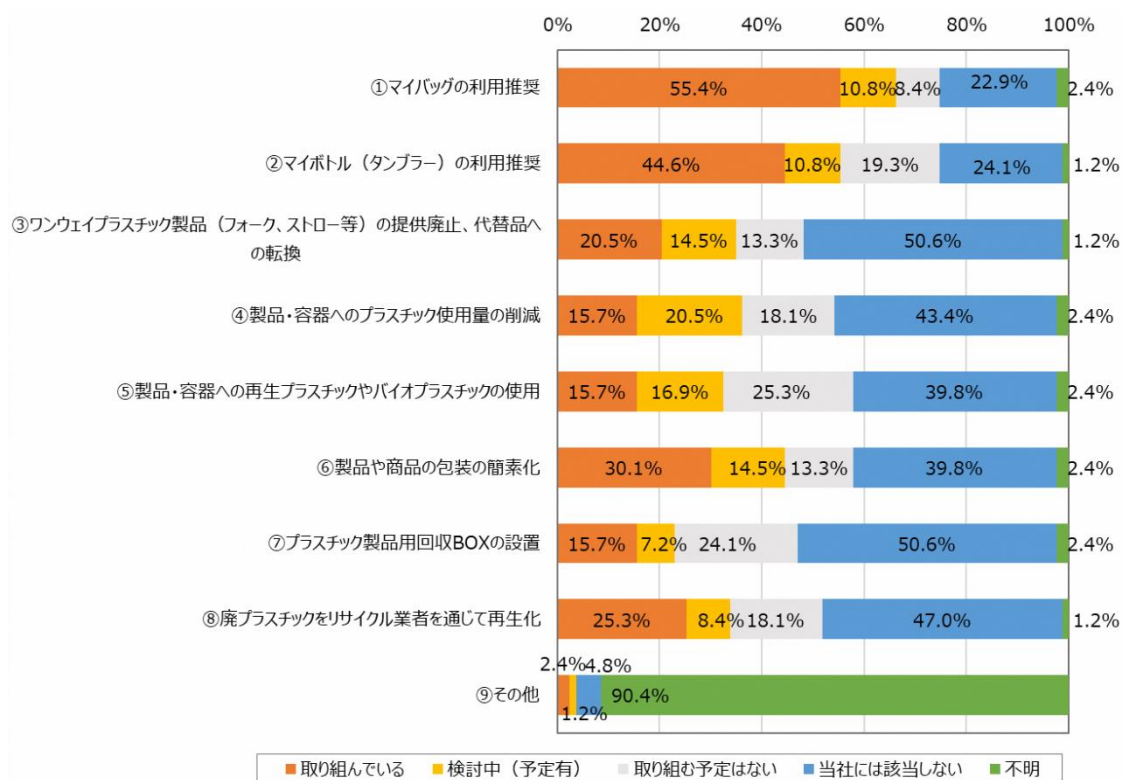
## (5) プラスチックごみ対策への取り組み状況

問 10 プラスチックごみを燃やすことは二酸化炭素の排出につながります。令和 4 年 4 月 1 日に「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」が施行されました。プラスチックごみ対策として、貴事業所で取り組んでいることを教えてください。それぞれの項目について、あてはまる番号 1~4 の中から 1 つだけ○で囲んでください。

プラスチックごみ対策への取り組み状況について聞いたところ、『取り組んでいる』対策では、「①マイバッグの利用推奨（55.4%）」の実施率が最も高く、次いで、「②マイボトル（タンブラー）の利用推奨（44.6%）」「⑥製品や商品の包装の簡素化（30.1%）」となっています。

一方、「①マイバッグの利用推奨」及び「②マイボトル（タンブラー）の利用推奨」を除いた対策（③～⑧）について、『取り組む予定はない』の回答率がいずれも 4 割程度もしくは 4 割を上回っています。

その他の回答では、「バイオマスレジ袋」、「ペットボトルキャップの回収」といった意見が挙がっています。



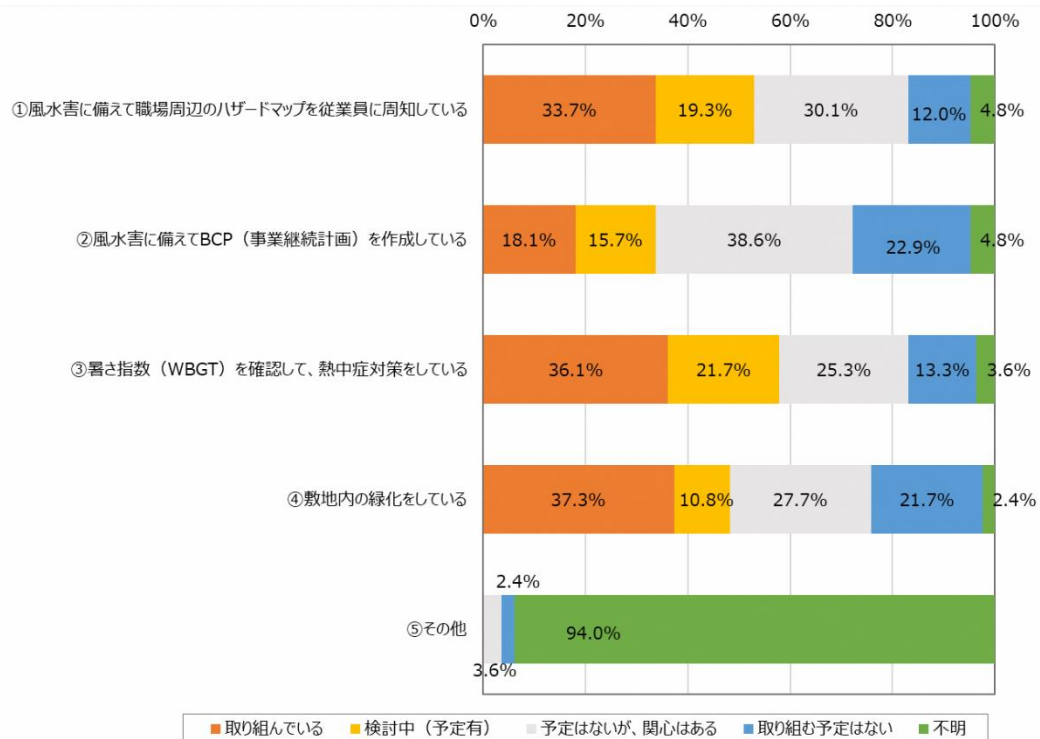
## (6) 気候変動適応策への取り組み状況

問 11 すでに日本でも地球温暖化による気候変動が観測されており、将来にわたって様々な影響を与えることが予測されています。貴事業所で取り組まれている気候変動による風水害や気温上昇への備えや影響を抑える取り組みを教えてください。それぞれの項目について、あてはまる番号 1～4 の中から 1 つだけ○で囲んでください。

気候変動適応策への取り組み状況について聞いたところ、『取り組んでいる』対策では、「④敷地内の緑化をしている（37.3%）」の実施率が最も高く、『検討中（予定有）』、『予定はないが、関心はある』の回答を合わせると 8 割近い回答率となっています。「①風水害に備えて職場周辺のハザードマップを従業員に周知している（33.7%）」「③暑さ指数（WBGT）を確認して、熱中症対策をしている（36.1%）」についても同様の傾向となっています。

また、「②風水害に備えて BCP（事業継続計画）を作成している」についても『取り組んでいる』『検討中（予定有）』、『予定はないが、関心はある』の回答を合わせて 7 割近い回答率となっています。

その他の回答では「関心はあるが、どう取り組むか分からない」といった意見が挙がっています。



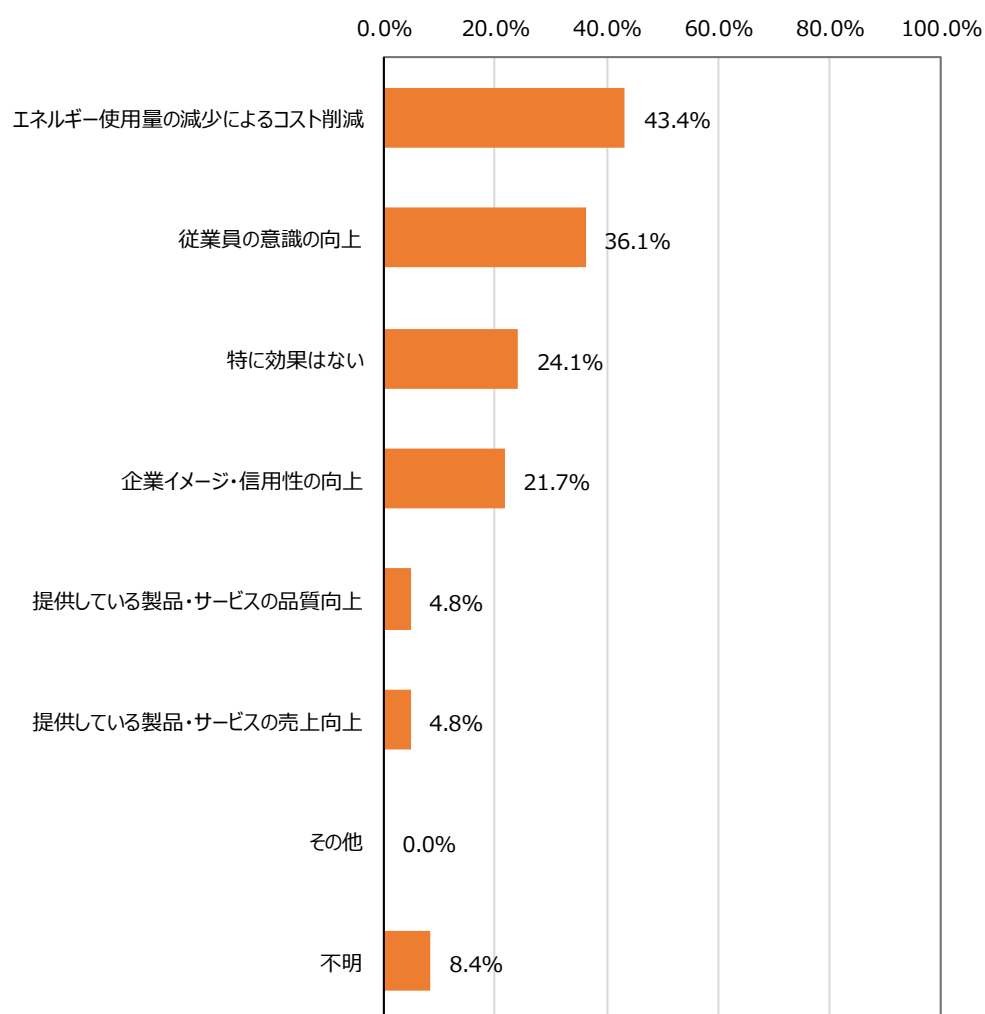
### 3-3 地球温暖化対策への取り組みにおける効果と課題について

#### (1) 地球温暖化対策への取り組みで得られた効果

問 12 貴事業所において、地球温暖化対策に取り組んだことで得られた効果は何ですか。あてはまる番号すべてを○で囲んでください。

地球温暖化対策への取り組みで得られた効果を聞いたところ、「エネルギー使用量の減少によるコスト削減（43.4%）」が最も多く、次いで、「従業員の環境意識の向上（36.1%）」「企業イメージ・信用性の向上（21.7%）」となっています。

「特に効果はない（24.1%）」は3番目の回答率となっています。

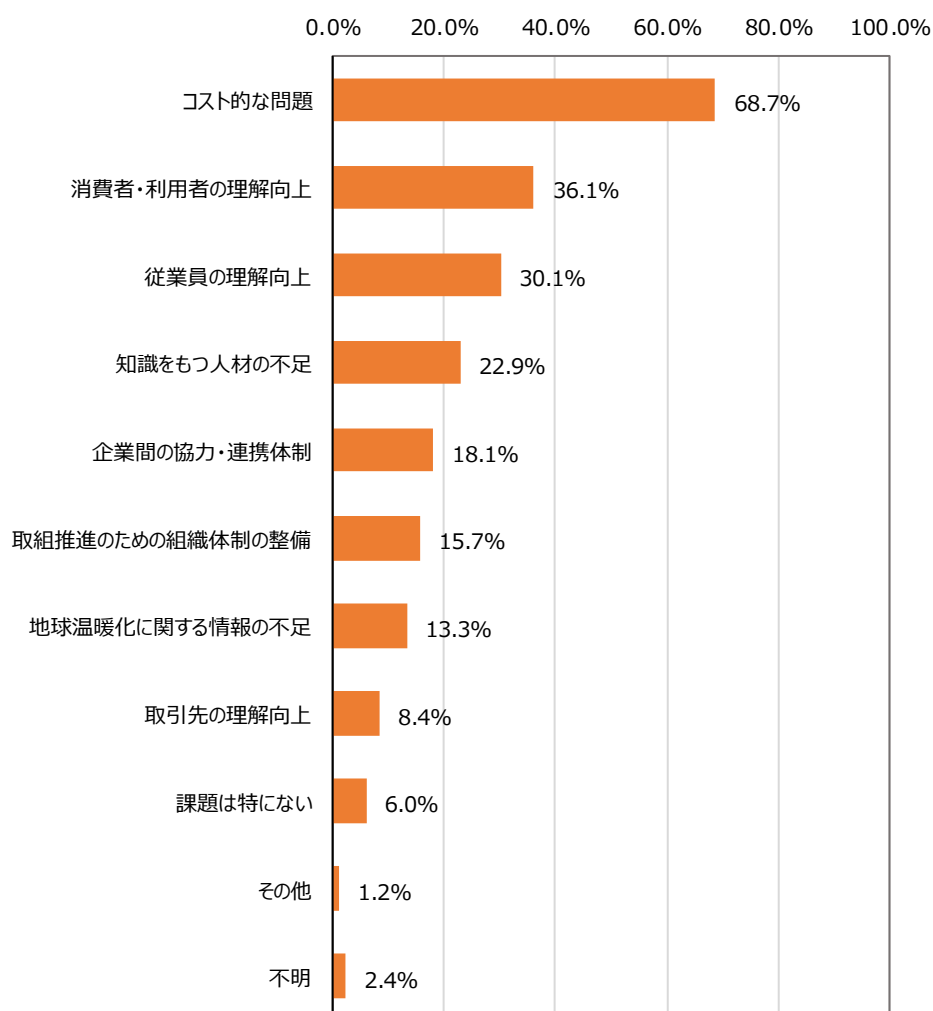


## (2) 地球温暖化対策に取り組むにあたっての課題

問 13 貴事業所において、地球温暖化対策に取り組むにあたり、どのようなことが課題であるとお考えですか。あてはまる番号すべてを○で囲んでください。

地球温暖化対策への取り組みに対する課題を聞いたところ、「コスト的な問題（68.7%）」が最も多く、次いで、「消費者・利用者の理解向上（36.1%）」、「従業員の理解向上（30.1%）」「知識をもつ人材の不足（22.9%）」となっています。

「課題は特にない（6.0%）」の回答から、9割以上の事業所では、地球温暖化対策に取り組むにあたって、何らかの課題を抱えていることがうかがえます。



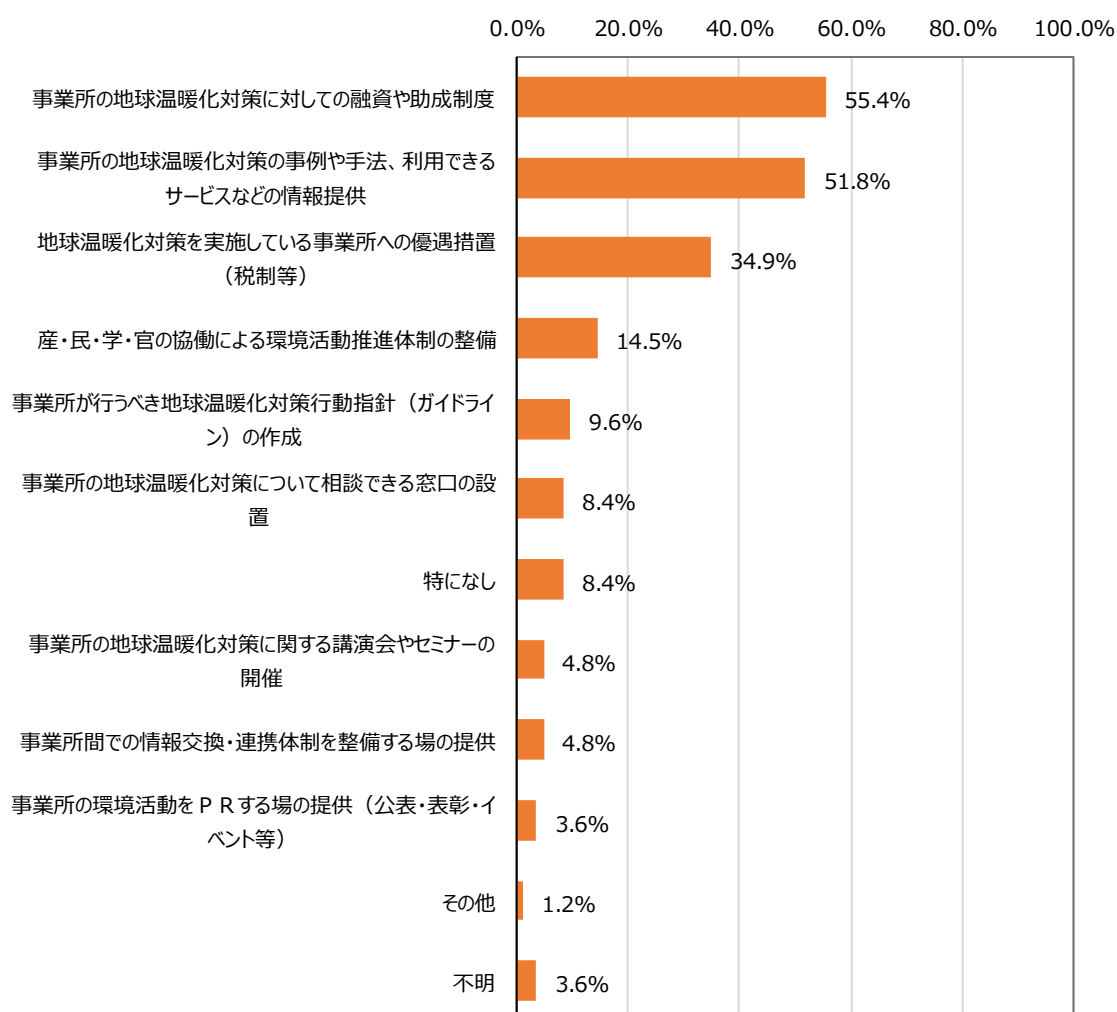


### (3) 町が実施すると望ましいサポート

問 14 貴事業所において、地球温暖化対策に取り組むにあたり、町が実施すると望ましいサポート等がありますか。あてはまる番号を 3 つまで○で囲んでください。

町が実施すると望ましいサポートについて聞いたところ、事業所の地球温暖化対策に対する「融資や助成制度（55.4%）」の回答率が最も高く、次いで、「事業所の地球温暖化対策の事例や手法、利用できるサービスなどの情報提供（51.8%）」「地球温暖化対策を実施している事業所への優遇措置（税制等）（34.9%）」となっています。

「特になし（8.4%）」の回答から、9割以上の事業所では、地球温暖化対策に取り組むにあたって、何らかのサポートを望んでいることがうかがえます。



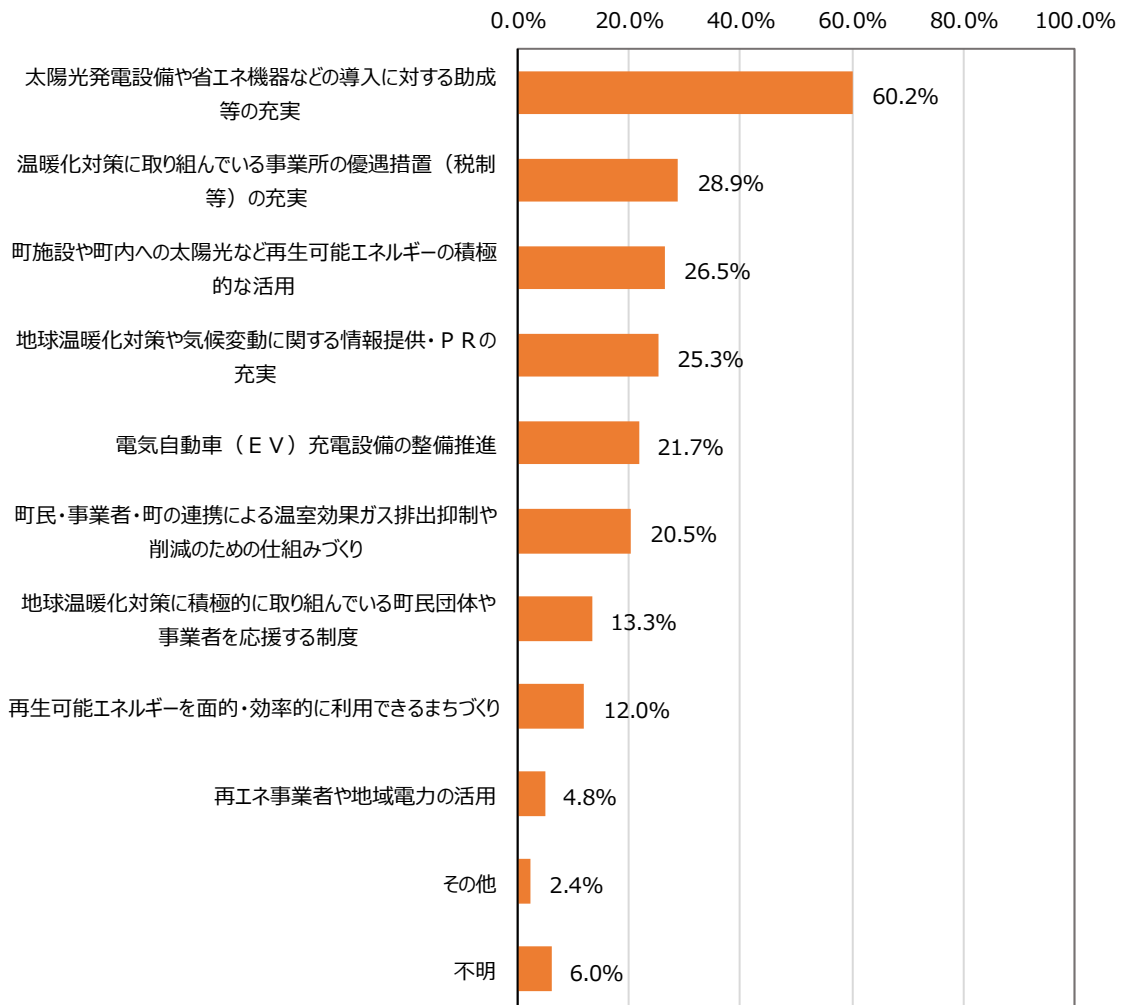
### 3-4 町が求められる支援・連携について

#### (1) 町が重点的に進めるべき地球温暖化対策

問 15 地球温暖化対策について、町が積極的に進めるべきだと思う取り組みは、どれだと思いますか。あてはまる番号を3つまで○で囲んでください。

町が重点的に進めるべき地球温暖化対策を聞いたところ、「太陽光発電設備や省エネ機器などの導入に対する助成等の充実（60.2%）」の回答率が最も高く、次いで、「温暖化対策に取り組んでいる事業所の優遇措置（税制等）の充実（28.9%）」、「町施設や町内への太陽光など再生可能エネルギーの積極的な活用(26.5%)」となっています。

その他の回答としては、「地球温暖化対策のコスト」、「太陽光パネルの事業者の情報提供」といった意見が挙がっています。

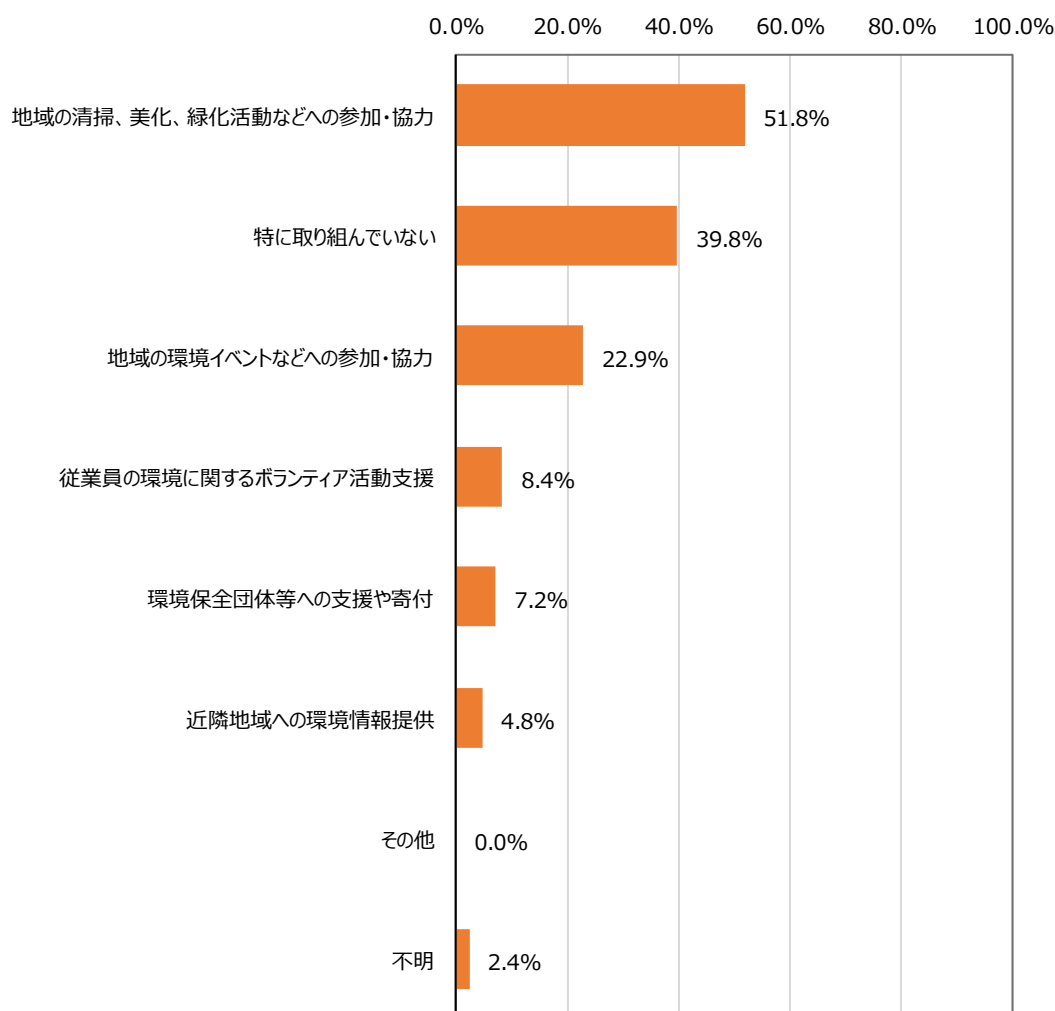


## (2) 取り組んでいる地域環境活動

問 16 貴事業所では、地域社会の一員として、地域の環境のためにどのような取組をしていますか。あてはまる番号すべてを○で囲んでください。

取り組んでいる地域環境活動については、「地域の清掃、美化、緑化活動などへの参加・協力（51.8%）」が最も多く、次いで「地域の環境イベントなどへの参加・協力（22.9%）」、「従業員の環境に関するボランティア活動支援（8.4%）」となっており、参加型の取組の実施率が高い傾向となっています。

「特に取り組んでいない（39.8%）」は2番目の回答率となっています。

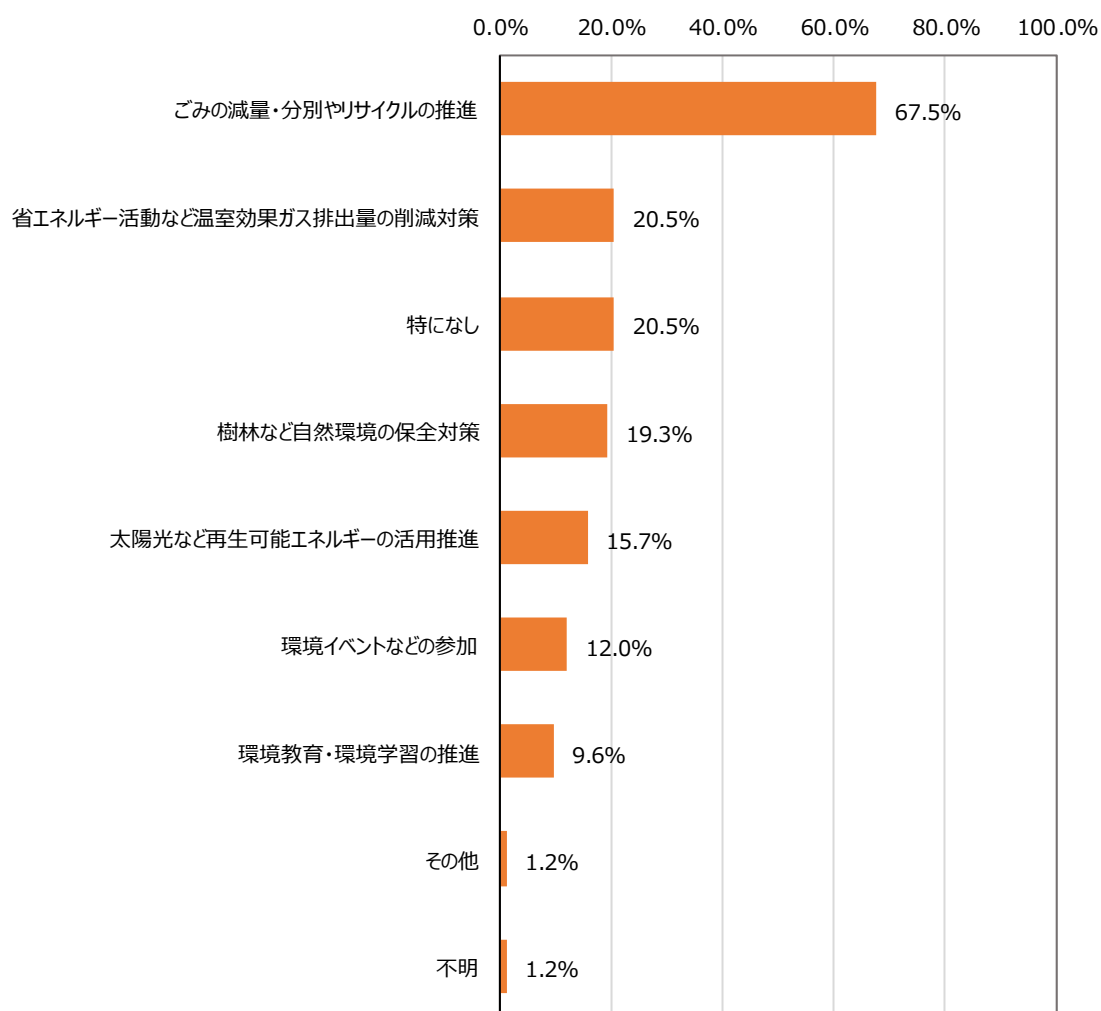


### (3) 協力、支援できる活動分野

問 17 貴事業所が、環境に関する地域貢献活動において、協力、支援できる活動分野はありますか。あてはまる番号すべてを○で囲んでください。

環境に関する地域貢献活動において、協力、支援できる活動分野については、「ごみの減量・分別やリサイクルの推進（67.5%）」が最も多くなっています。次いで、「省エネルギー活動など温室効果ガス排出量の削減対策（20.5%）」、「樹林など自然環境の保全対策（19.3%）」となっております。

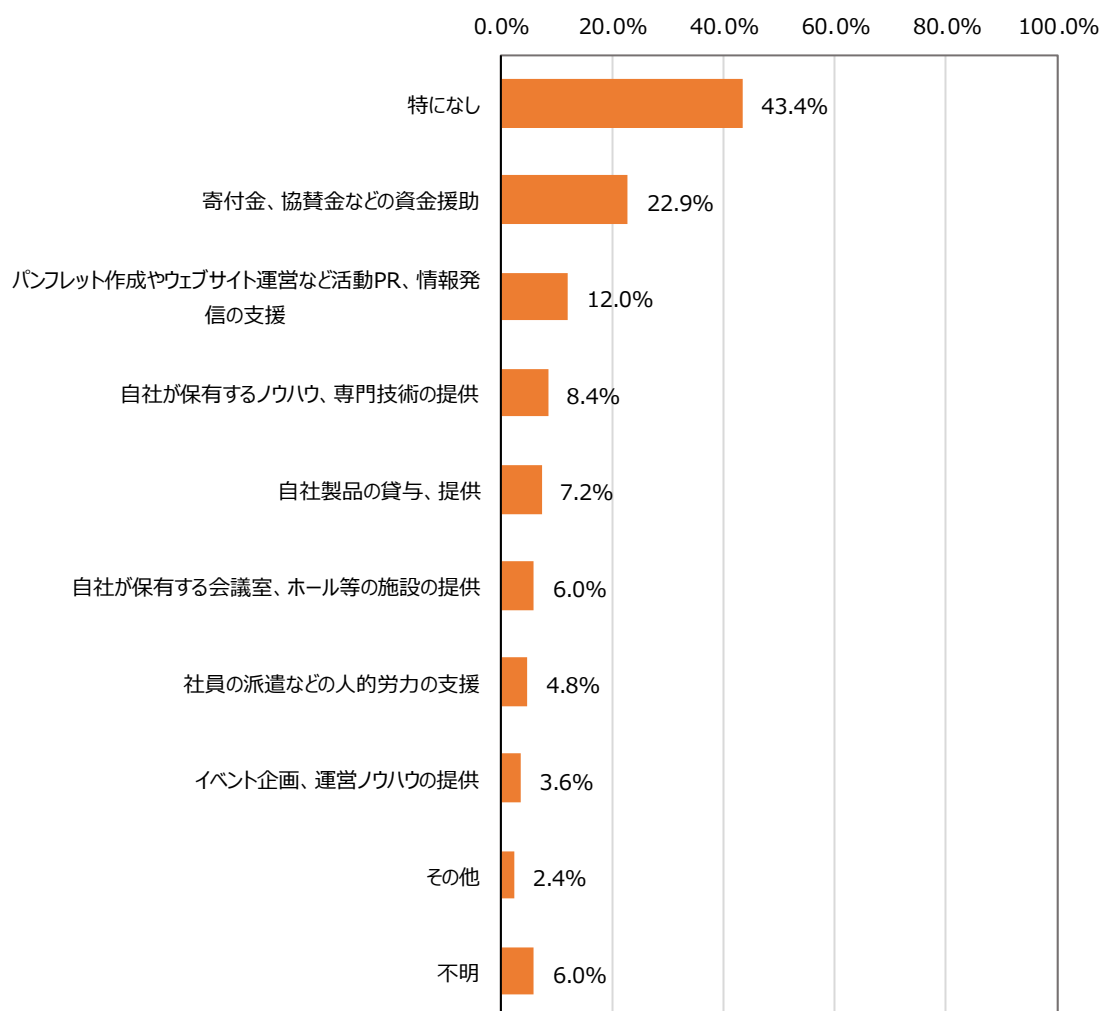
「特になし（20.5%）」は3番目の回答率となっております。



#### (4) 協力、支援できる取組

問 18 貴事業所が、環境に関する地域貢献活動において、協力、支援できる取組はありますか。あてはまる番号すべてを○で囲んでください。

環境に関する地域貢献活動において、協力、支援できる取組については、「寄付金、協賛金などの資金援助（22.9%）」、「パンフレット作製やウェブサイト運営など活動PR、情報発信の支援（12.0%）」となっており、「特になし（43.4%）」の回答が4割以上となっています。



## 自由意見

最後に、環境に関わる意見等を自由記述形式で求めたところ、7社（10.9%）の事業所からの記入がありました。主な意見の概要を以下に示します。

- SDGs 同様に重要な取り組みと感じている。
- プラスチックゴミをリサイクル、回収してくれる企業を知りたい。最終的に可燃ゴミとして処理されてしまうのが心苦しい。
- スーパーのリサイクルポストの中の一つ見ただけでも、ビンのラベルがはがされていない、プラスチックトレイや容器が洗われていないこと、エコや温暖化の認識の低さを一番に感じる。
- 洗えば廃プラになるのに、燃やせるゴミになっている。
- 公共建造物、施設には、積極的に太陽光発電を設置してほしい。
- 太陽光や蓄電池、電気自動車、パソコン等、まだまだ費用が高いため助成制度をしっかりと整備してほしい。